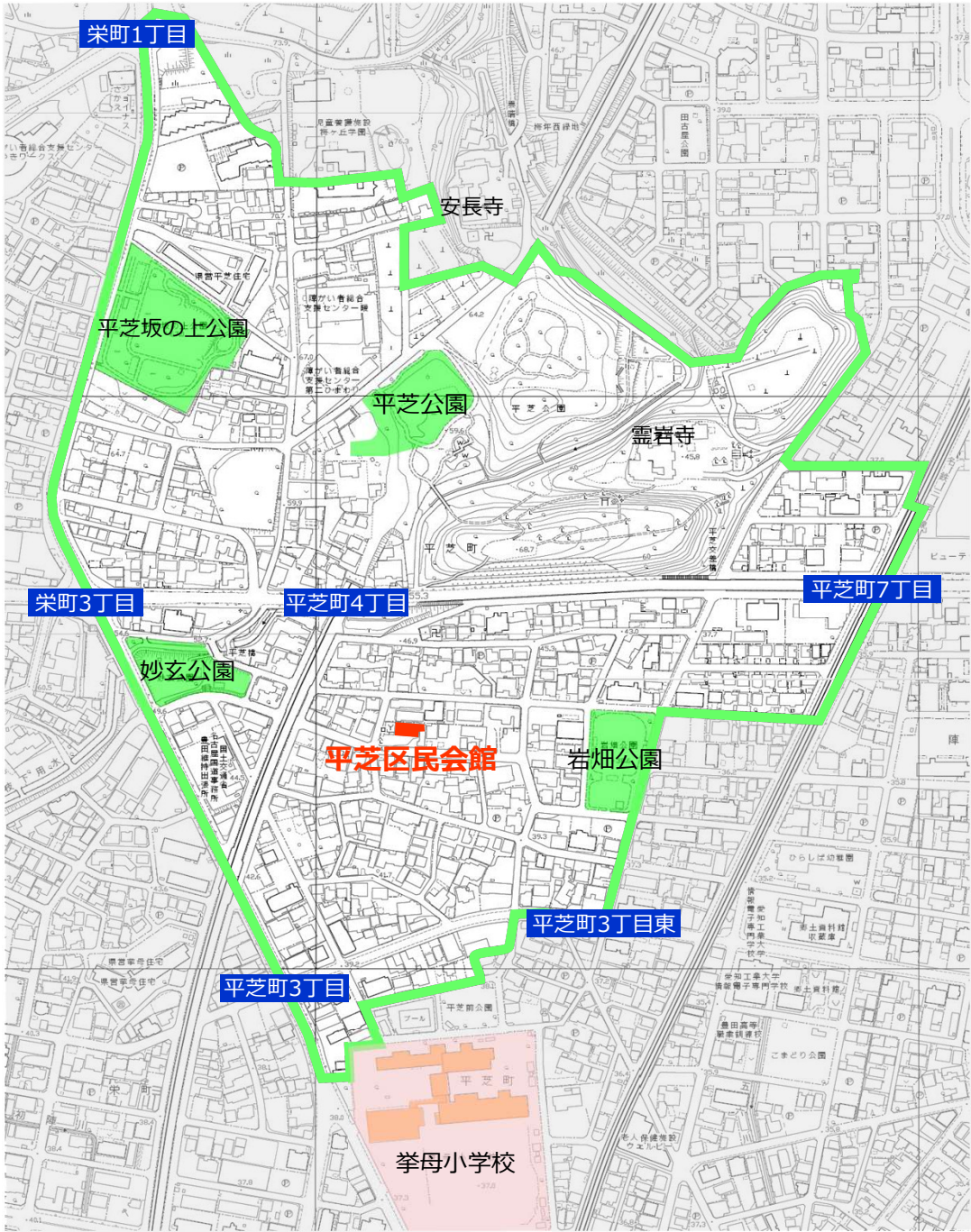


# 豊田市崇化館地区平芝自治区 防災カルテ



# 目次

1. 平芝自治区防災カルテ作成の目的	1
2. 東海地方・豊田市における災害記録	1
3. 平芝自治区について	2
3-1 概要	
3-2 自治区内の地形・地質	
4. 自治区内の被害予測<水害編>	3
4-1 東海豪雨浸水箇所	3
4-2 土砂災害情報	4
4-3 浸水想定区域（1000年に一度）	5
4-4 （参考）旧洪水ハザードマップ（150年に一度）	6
4-5 浸水継続時間（1000年に一度）	7
4-6 内水浸水想定区域（L2：想定最大規模降雨）	8
4-7 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）	9
4-8 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）	10
5. 平芝自治区自主避難場所・豊田市指定避難場所<水害時>	11
6. 自治区内の被害予測<地震編>	15
6-1 震度分布図（過去地震最大）	15
6-2 震度分布図（理論上最大）	16
6-3 液状化危険度分布	17
6-4 建物損壊・消失率（過去地震最大）	18
6-5 建物損壊・消失率（理論上最大）	19
7. 本震終了後の余震発生中の各班行動タイムライン	20
8. 区民の皆さんへ	21
【参考】Ⅰ. 用語説明	23
Ⅱ-1. マイ・タイムライン<水害>	28
-2. マイ・タイムライン<地震>	30
Ⅲ. 参考資料	31
<メモ>	32
チェックシート	33

## 1.平芝自治区防災カルテ作成の目的

近年、全国で集中豪雨による大規模な洪水や土砂崩れが、また大規模な地震も多発しています。私たちの住む豊田市でも同様の災害発生が危惧されています。

過去には、昭和34年の伊勢湾台風による大規模な浸水、昭和47年の集中豪雨による矢作川の氾濫、平成12年の東海豪雨による山崩れやがけ崩れなどの水害が発生。また、令和5年6月2日には市内全域に警戒レベル4の避難指示が発令されました。

一方、地震に関しては、20年ほど前には「東海地震・東南海地震」が話題になっていましたが、最近はほとんど話題になっていませんでした。平成25(2013)年5月には「1000年に一度の規模の南海トラフ最大級」と、前提条件を大幅に変えた予測が公表されましたが、それでも地震に対してはあまり関心を示していませんでした。

しかし、令和6年1月1日の能登半島地震による大きな被害を目の当たりにして、やはり地震への対策に本気で取り組むべきと思いを新たにしました次第です。

以上のような、将来起こりうる災害に関する情報や対策が、国土交通省、愛知県および豊田市から発信されています。しかしながら、それらの情報は広範囲な地域を一括りにして対象としているため、自治区レベルの限られた範囲の中での被害予測や防災対策に結び付けることが難しいと感じていました。

そこで、平芝自治区では当自治区に特化した形で、できるだけ具体的な災害予測および防災対策を自治区の皆さんと共有し、区民の皆さんが「安全」で「安心」な生活を送ることができるよう、また区民の一人たりとも被害者を出さないことを願って、現時点での「水害」および「地震」に関する情報を本カルテにまとめました。

尚、本カルテに記載の図表ならびにデータは全て国・県・市の公表資料に基づくものです。出展については巻末の参考資料をご参照ください。

## 2. 東海地方・豊田市における災害記録（豊田市HP基礎版防災カルテより）

発生年月	災害	豊田市内の被害概要
明和4年 (1767年)	明和4年 災害	築平村では、矢作川の流路変化で高請地が水没。 矢作川の右岸が約700mにわたり破堤した。
明治24年 10月28日	濃尾地震	尾張地方に甚大な被害をもたらした。濃尾平野の広範で液状化現象が見られた。死者2,638人、住宅全半壊約71,000戸。
昭和19年 12月7日	東南海地震	県下で大被害を生じた。各地で液状化現象が見られた。死者438人、住宅全半壊約24,000戸。
昭和20年 1月13日	三河地震	西三河地方を中心に大被害を生じた。死者2千3百6人、住宅全半壊約2万4千戸。
昭和34年 9月26日	伊勢湾台風	愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水が起こり、死者・行方不明者が3,300名以上に達する大きな被害となった。
昭和47年 7月12～13日	47・7 豪雨災害	昭和47年7月12日夜半から13日の未明にかけての豪雨により、西三河地方を中心に大きな被害をもたらし、特に旧小原村の被害は甚大で、32名の村民の命を奪うとともに、財産に壊滅的な被害を与えた激甚災害である。
平成元年9月	平成元年 9月豪雨	台風22号の影響で、愛知県は三河山間部を中心に激しい雨に見舞われた。特に豊田市旭地区（旧旭町）では時間最大雨量95ミリという記録的な集中豪雨となり、各所で土石流や山崩れが発生、死者1名全壊家屋18戸の災害となった。
平成12年 9月11～12日	東海豪雨	秋雨前線と台風14号の影響により記録的な豪雨となり、各地で土砂災害が発生。市内（合併市町村含む）では稲武・足助・旭地区を中心に、がけ崩れ等の山地災害が発生死者1名、家屋全半壊16棟の被害を受けた。

### 3.平芝自治区について

#### 3-1 概要 (令和5年度住民台帳調査 (令和5年3月実施) 結果による)

総人口	1,860人 (2,178人※1)
世帯数	729世帯 (924世帯※1)
0～14歳 (生年月日未記入者除く)	237人
15～64歳 ( " )	1,153人
65歳以上 ( " )	410人
男性	966人
女性	894人
世帯人数	2.562人/戸
旧耐震基準家屋率 (木造) ※2	12.6%

※1 隣組に未所属のアパートの人数および世帯数 (推定) を含む

※2 旧耐震基準家屋率: 自治区内にある家屋の内、昭和56年以前に建てられた木造家屋の割合

#### 3-2 自治区内の地形・地質

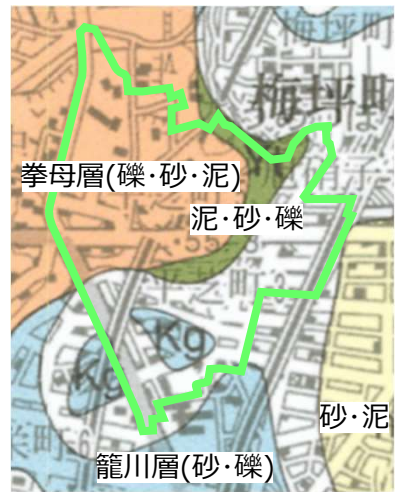


地形地域区分

国土省 土地分類基本調査説明書 豊田 (H24. 3) をもとに作成



人工地形分類図

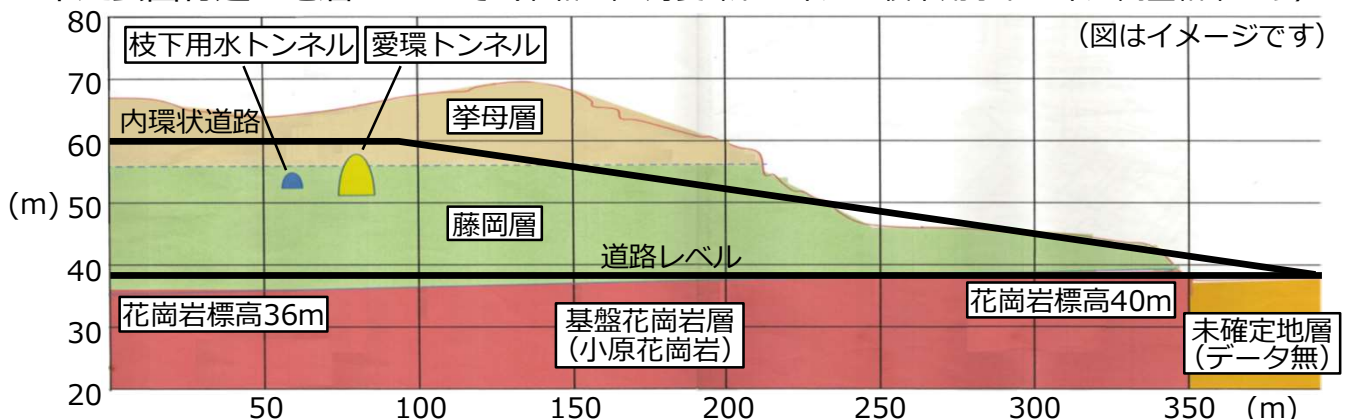


地質分布図

産総研 地質図Naviをもとに作成

- ・地形地域区分図からは平芝3丁目東交差点から岩畑公園・霊岩寺の東側を通って北上する道路の東側が低地、西側が山地、台地・段丘であることがわかる。
- ・人工地形分類図からは平芝町6丁目付近が切土地 (傾斜のある土地を平らな土地にするために地面を削った箇所) それ以外は自然の地形のままであることが分かる。
- ・地質については平芝公園より西側が拳母層で、礫・砂および泥からなる。3丁目付近が籠川層で、砂・礫からなり、自治区内の地質は比較的安定していると言える。

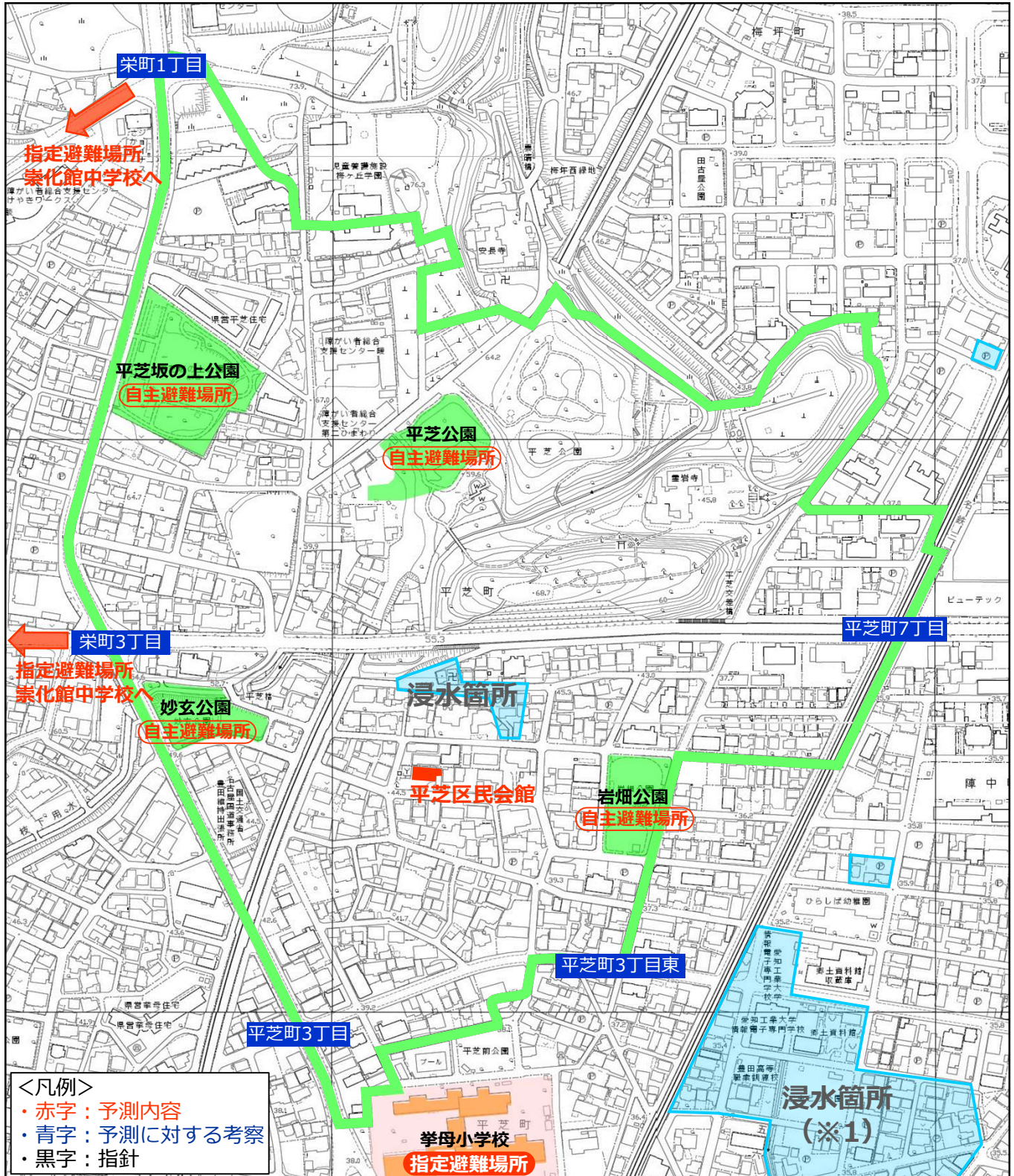
※平芝公園付近の地層について (令和5年5月愛環トンネル・枝下用水トンネル調査結果より)



- ・地面下の「基盤花崗岩層」および愛環、枝下用水両トンネルが通る「藤岡層」は比較的強固な地盤なので、地震に対しては耐性があると考えられる

## 4. 自治区内の被害予測

### 4-1 東海豪雨（2010年）浸水箇所（内水氾濫）



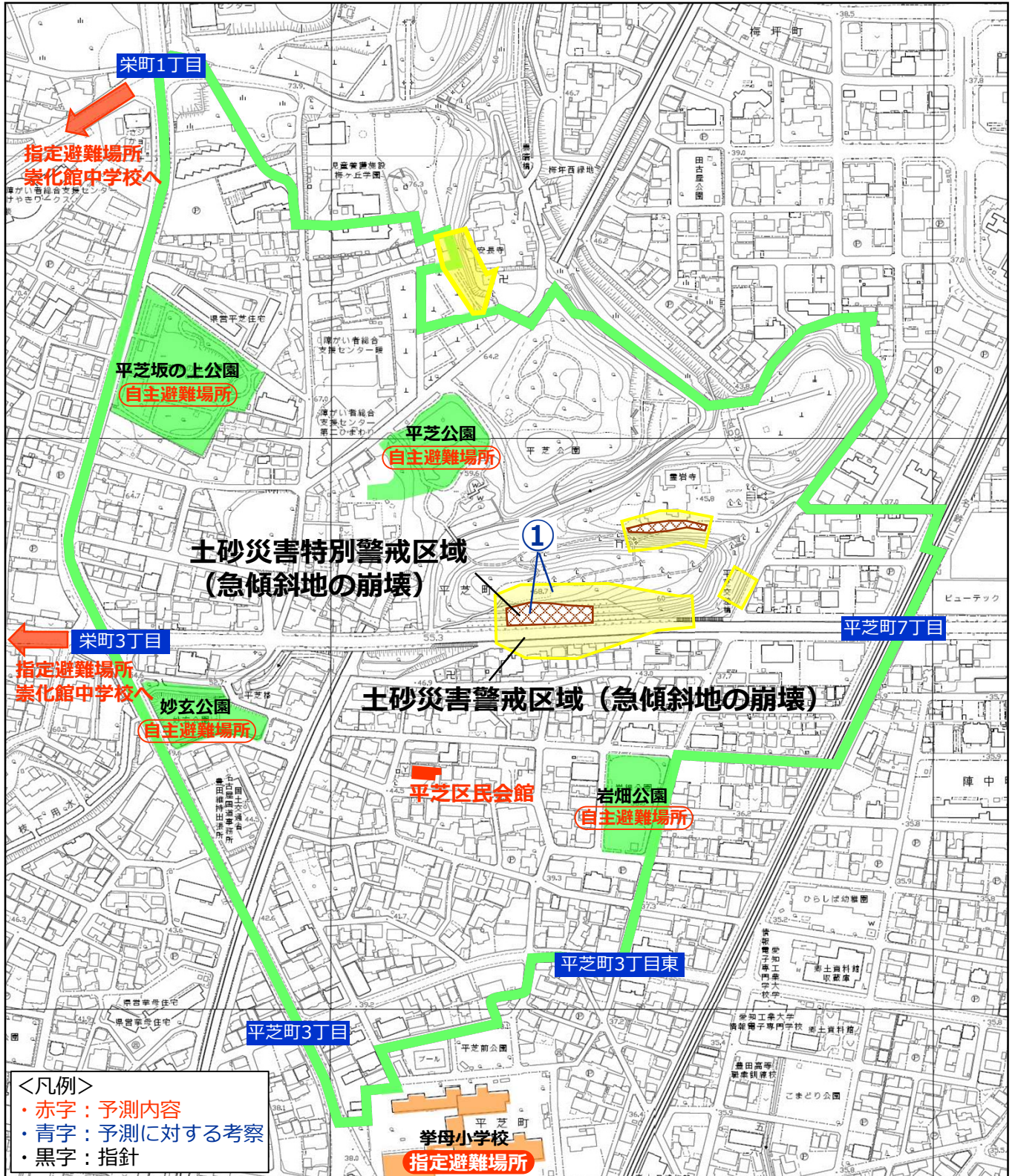
・自治区内では6丁目域で浸水被害

・6丁目域内の床下浸水箇所は、透水性の良い砂礫地盤や側溝の排水能力不足による湧水(内水浸水)と思われる(※1陣中地域は2010年以降内水浸水対策が実施されている)

・東海豪雨並(日雨量284mm(7/12 9時~7/13 9時)、時間雨量77mm(7/13 1時~2時))であれば浸水被害はないと考えられるが、それを超える場合は要注意

・降雨時の気象情報および矢作川水量、ダム放流情報を継続して収集してほしい  
中でも線状降水帯の発生(場所・雨量・継続時間)には特に注意すること

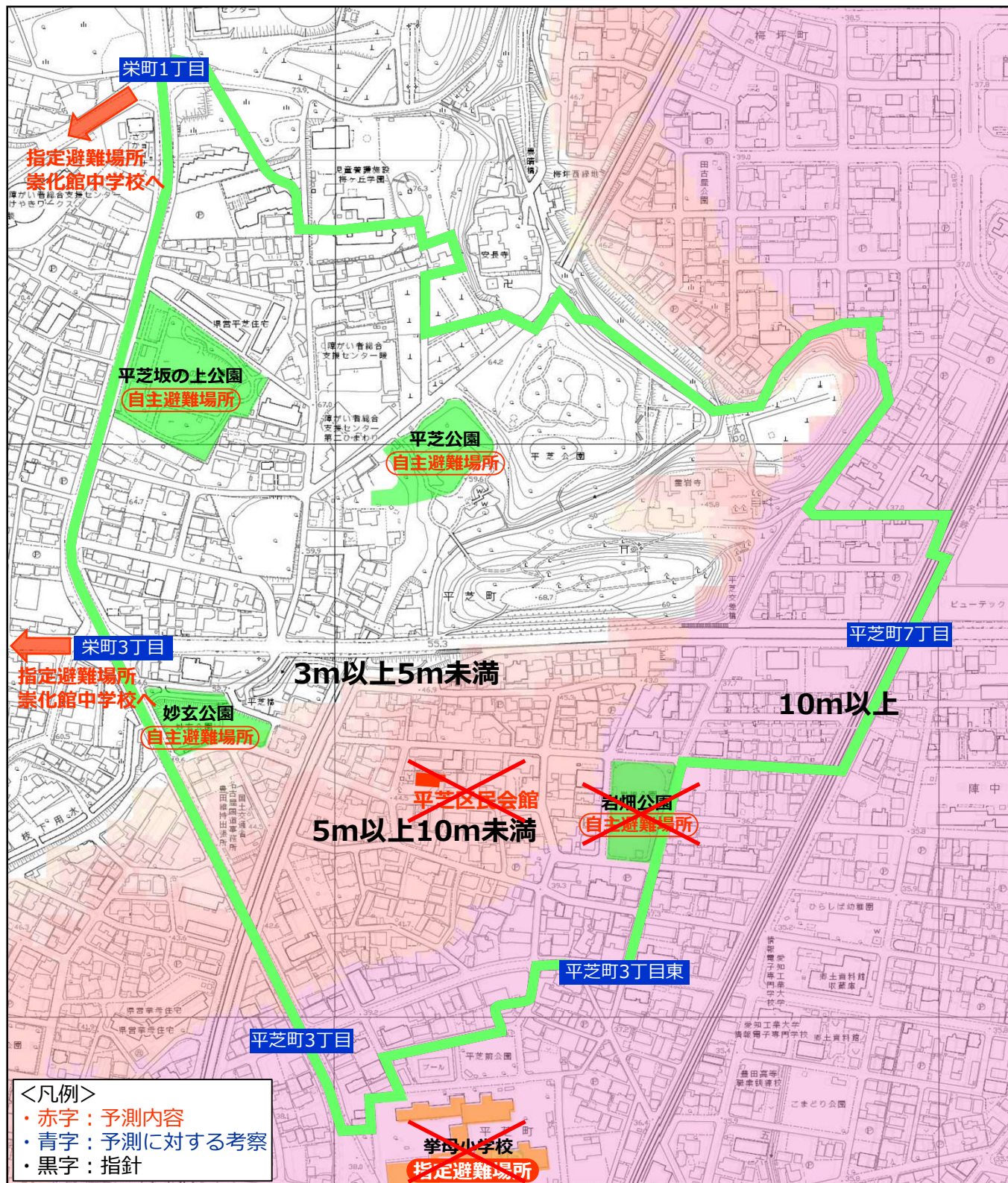
## 4-2 土砂災害情報



・ 霊岩時南の斜面（北、東、南向き）が警戒区域に、またそれぞれの斜面の一部が特別警戒区域に指定されている

・ 上図①の個所に関しては、土砂災害警戒区域ないしは土砂災害特別警戒区域に指定されてはいるが、花崗岩層および藤岡層といった比較的強固な地盤であること、(P2 3-2参照) 内環状道路での法面補強がしっかりなされていることから、降雨や地震による土砂災害の心配はほぼないと考える  
 ※岡多線・瀬戸線工事誌の地質調査データ等から判定

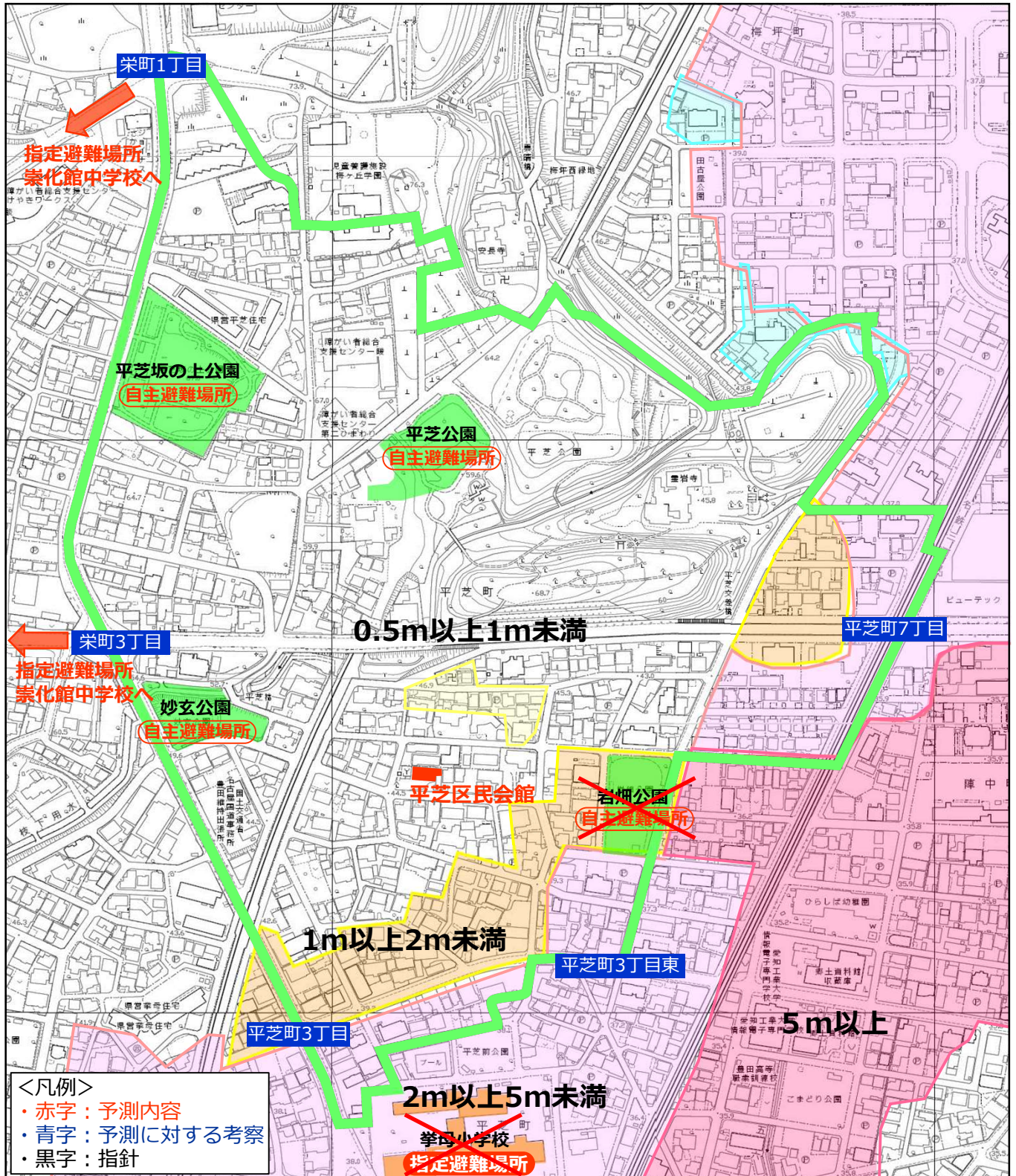
## 4-3 浸水想定区域（1000年に一度）



<凡例>  
 ・赤字：予測内容  
 ・青字：予測に対する考察  
 ・黒字：指針

- ・平芝町3・6・7丁目の全世帯（枝下用水より低い場所）で3m～10mの浸水が予想される（×印：避難不可）
- ・1000年に一度とは言え最近の全国状況を見るとそれ以下の確率でも起こる可能性は高いと考えられる。降雨の際は天候（特に線状降水帯）に注意のこと
- ・R6年6月に自治区内全世帯に対して決定・通知した避難場所を利用する。避難は各世帯の自主判断とするが、自治区としては、警戒レベル3の避難警報（高齢者避難）が発令された時点で自主避難場所の公園の鍵を解錠し、放送にて通達する

## 4-4 (参考) 旧洪水ハザードマップ (150年に一度)



・ 岩畑公園より東～南側で 2 m以上5m未満、3丁目南側で1m以上2m未満と予想

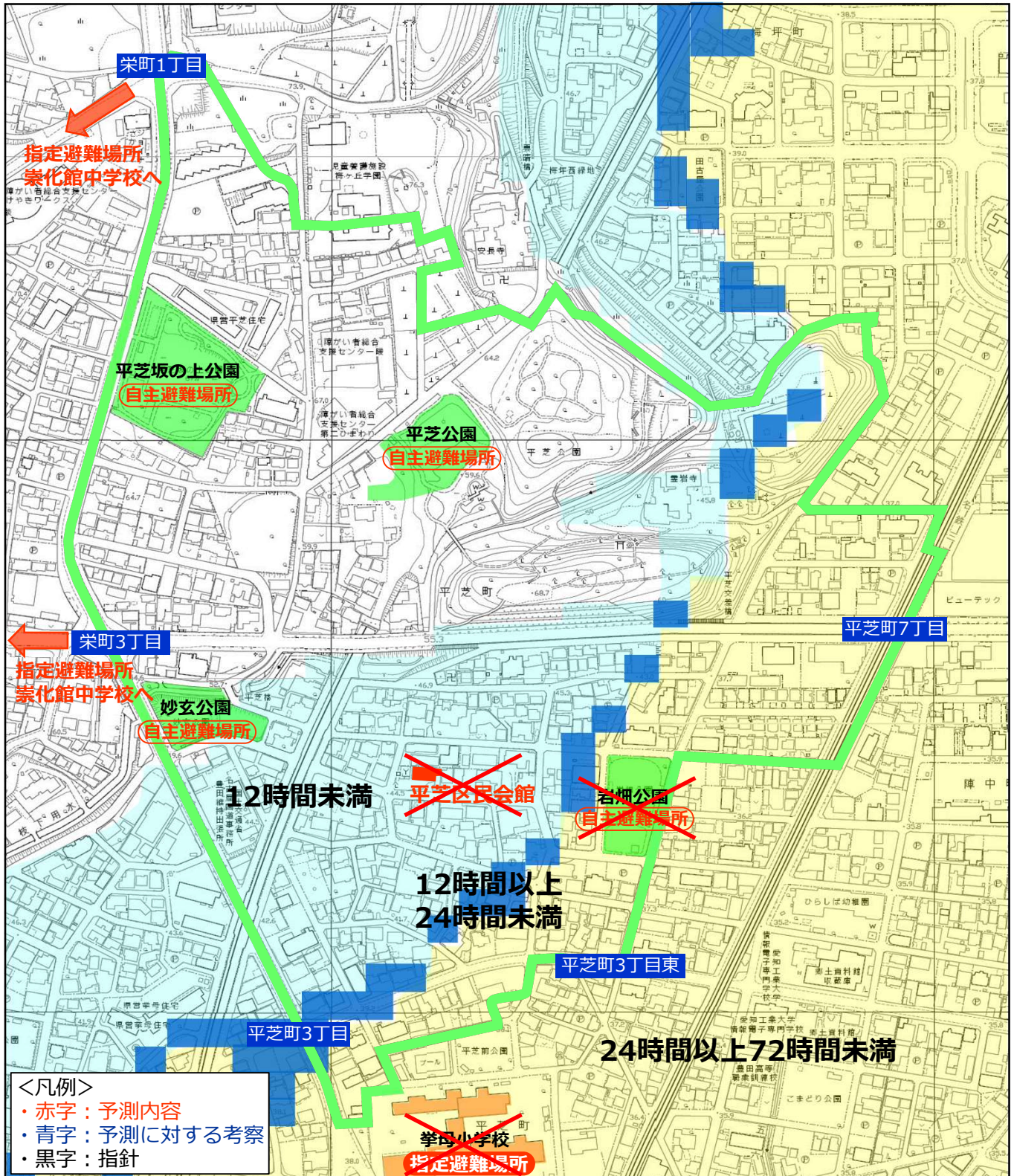
・ 6丁目の一部に0.5m以上1m未満の予測があるのはP3 4-1と同じ理由か

・ 指定避難場所は崇化館中学校と朝日小学校であるが、このケースでは平芝区民会館を含めた自治区内の高台への避難が可能。但し、降っている時点では「1000年に一度」なのか「150年に一度」なのかはわからないので、線状降水帯や雨量、矢作川の水位等に注意する

・ 避難の際は車での移動を推奨する



## 4-5 浸水継続時間（1000年に一度）

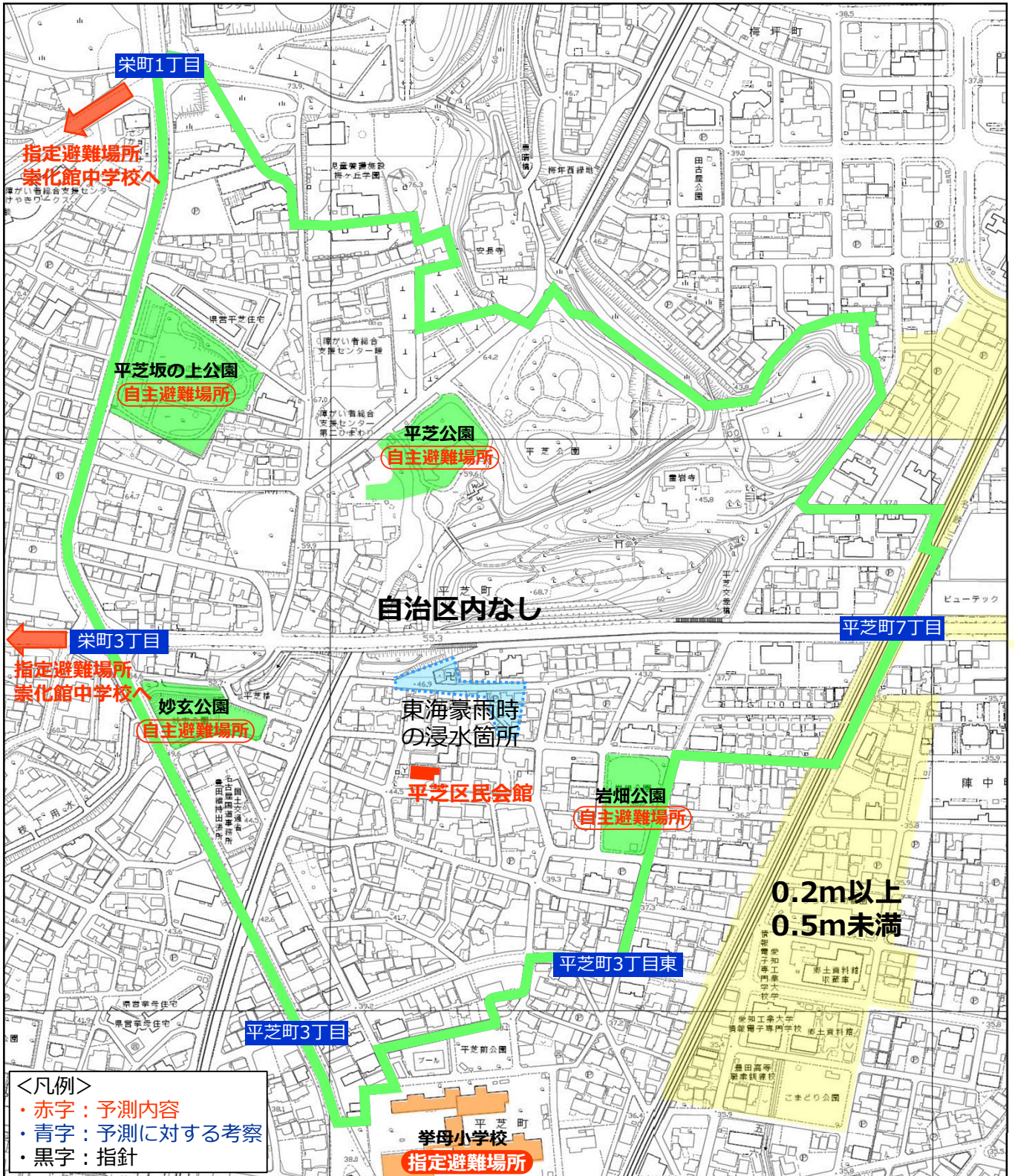


・ P5 4-3 浸水想定区域（1000年に一度）の内、岩畑公園以西が12時間未満、以東が24時間並所72時間未満、その境目が12時間以上24時間未満と予測される

・ 避難するとしても1日から2日と比較的短い

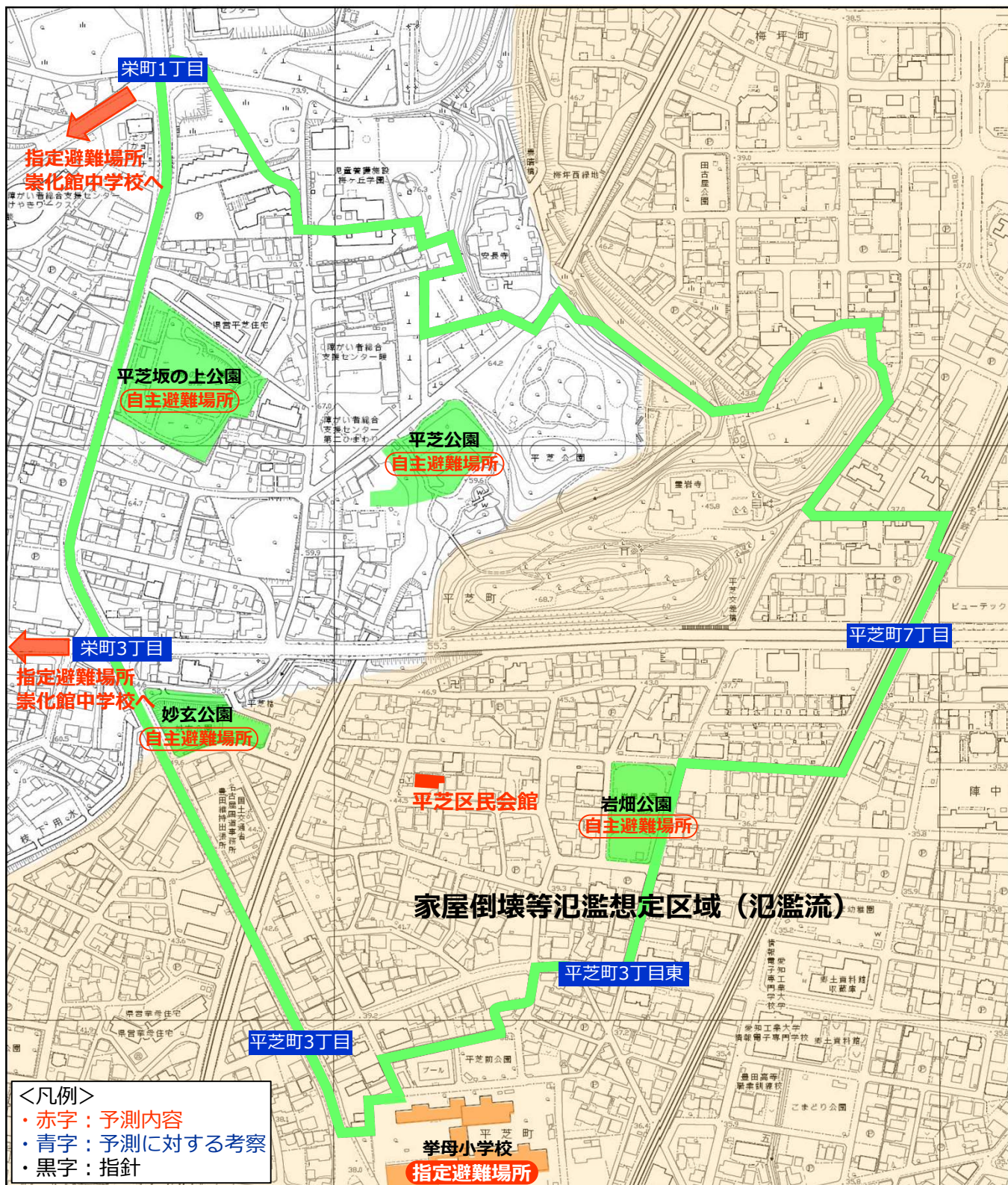
・ 特に12時間未満の地域は比較的高台にあるため、いったん水が引き始めると引き終わるまでにさほど時間はかからないと考えられる。その地域でも12時間弱程度、その他の地域でも24時間程度あればほぼ水が引くのではないかと考えられるので、その間だけ車中泊で対応する

# 4-6 内水浸水想定区域 (L2 : 想定最大規模降雨)



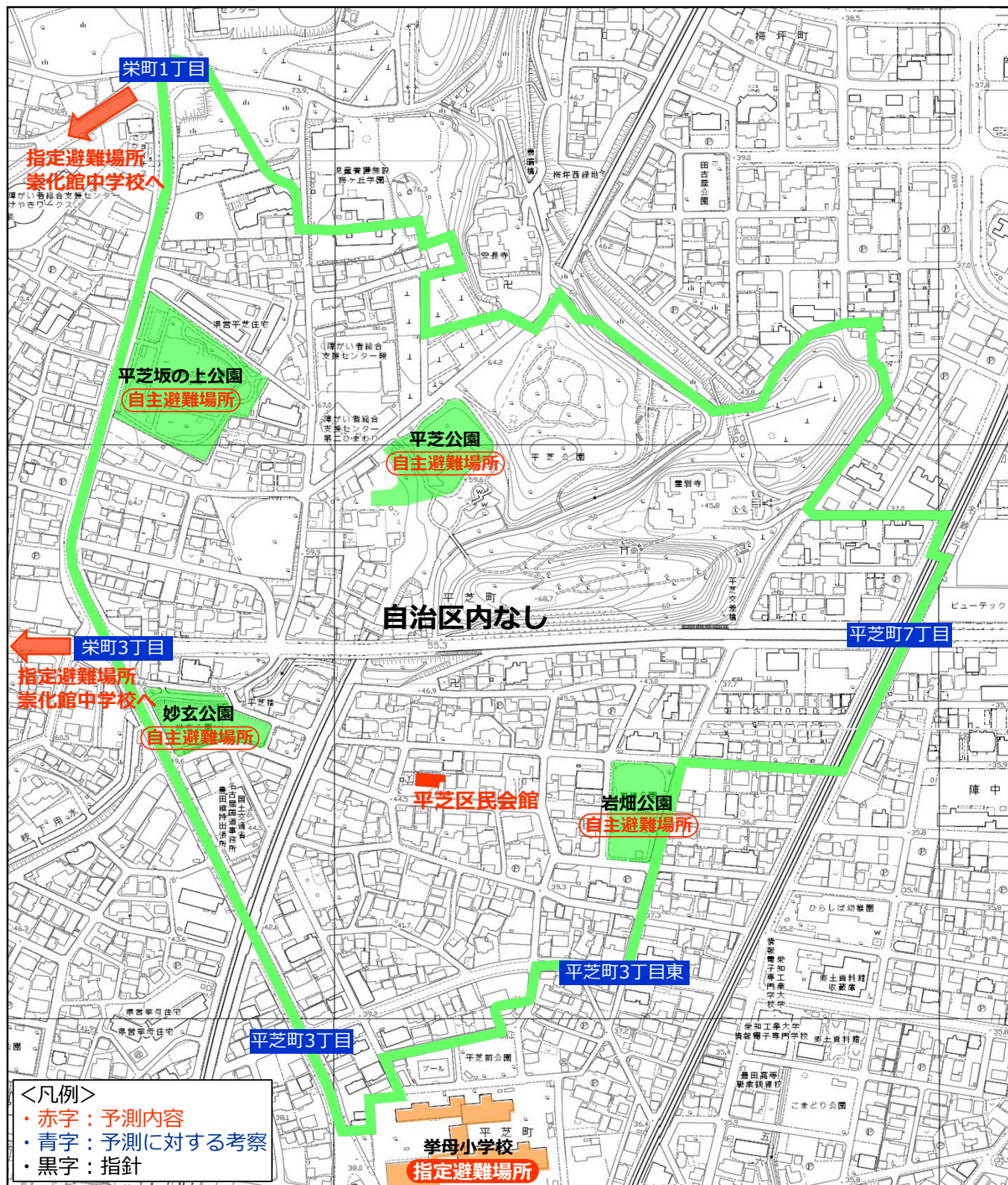
- ・ 自治区内での内水浸水なし
- ・ 自治区内での内水浸水なしとの想定であるが、東海豪雨時の浸水箇所 (P3 4-1参照) は内水浸水であり、同様の浸水が起きることは想定される

## 4-7 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）



- ・ 浸水想定区域（1000年に一度）内は氾濫流による家屋倒壊等想定区域となる
- ・ 浸水想定区域全てで家屋倒壊等氾濫想定されているが、水没した家屋はともかく、建屋構造や材質、土地の地質にもよるが、浸水程度では倒壊までは至らないと考える

# 4-8 家屋倒壊等氾濫想定区域 (河岸浸食)



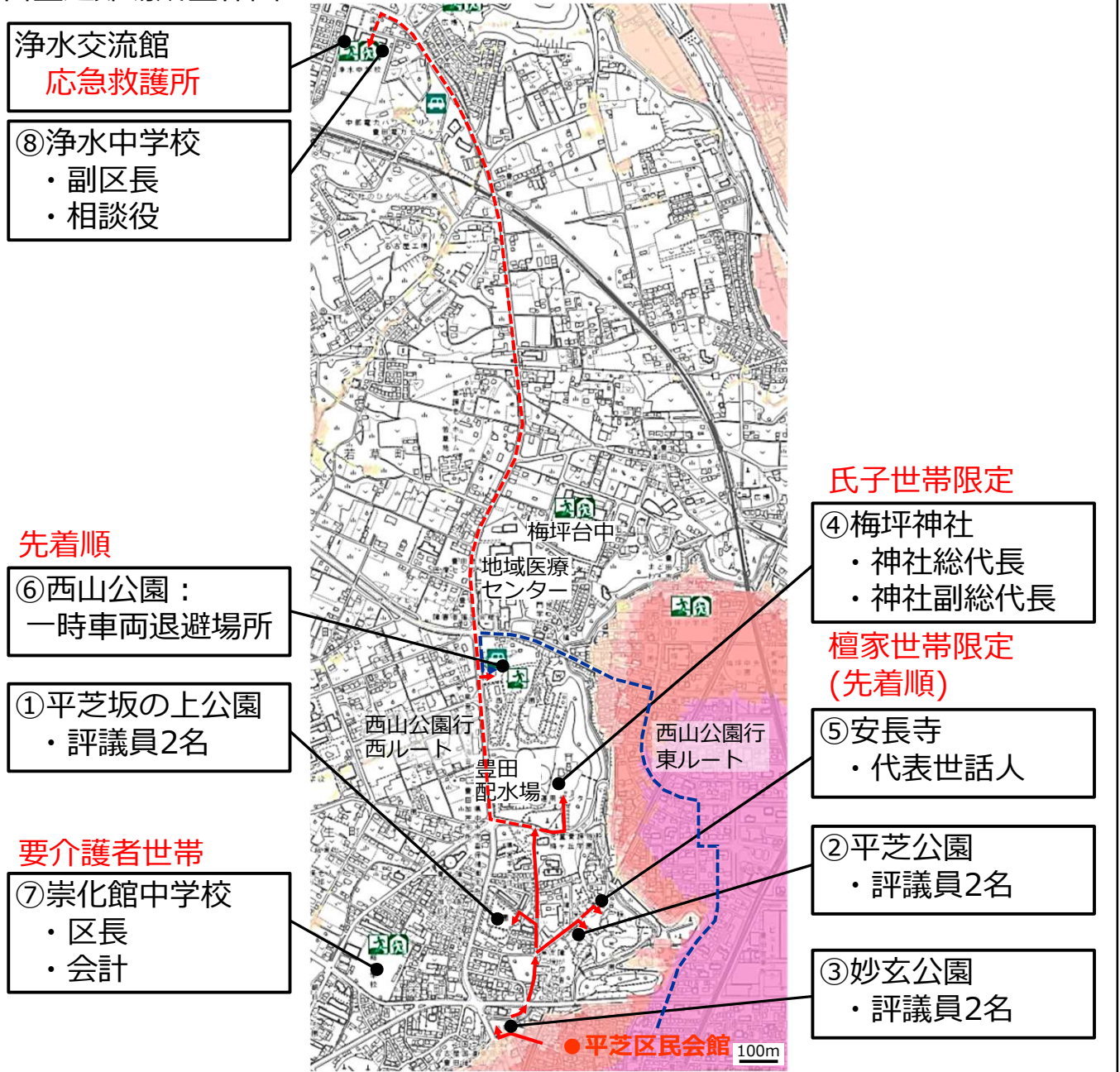
## 5. 平芝自治区自主避難場所・豊田市指定避難場所〈水害時〉

1000年に一度の浸水被害時の避難場所について

- ・自宅（平芝町4丁目、5丁目）および垂直避難（バンベール平芝公園6F～8F、フォレスト平芝3F・4F、アミューズ5F）以外では、知人・親戚宅を推奨
- ・それ以外の世帯の避難場所は以下の通り
- ・避難時は車での移動とする（豪雨に徒歩避難は危険、電動車は電源供給可能）

避難場所	避難人数	避難世帯(台)数	条件等
① 平芝坂の上公園	195人	82世帯	開設～閉鎖まで自治区管理
② 平芝公園	101人	41世帯	
③ 妙玄公園	34人	16世帯	開設～閉鎖まで自治区管理
④ 梅坪神社	204人	59世帯	トイレ水没時要再避難
⑤ 安長寺	40人	12世帯	氏子世帯限定
⑥ 西山公園	178人	108世帯	檀家世帯限定（先着順）
⑦ 崇化館中学校	64人	16世帯	30代以下で少人数世帯（先着順）
⑧ 浄水中学校	8人	4世帯	要介護者・障害者のいる世帯限定
			30代以下で少人数世帯

### 自主避難場所全体図



### ①平芝坂の上公園

- ・本避難所では通路を取らずに駐車するため、避難解除まで車では退場できない
- ・評議員が避難名簿をまとめて、崇中の区長へ提出

ト イ レ	男性用	1基	小2
	多目的	1基	
	女性用	2基	



### ②平芝公園

- ・本避難所では通路を取らずに駐車するため、避難解除まで車では退場できない
- ・評議員が避難名簿をまとめて、崇中の区長へ提出

ト イ レ	男性用	0基	小2
	多目的	1基	
	女性用	0基	



### ③妙玄公園

- ・0.5m未満の水浸の可能性があるため、出入口に車前方を向けて駐車のこと
- ・トイレが浸水し始めたら西山公園・浄水中へ避難

ト イ レ	男性用	1基	小2
	多目的	1基	
	女性用	1基	



### ④梅坪神社 (氏子世帯限定)

- ・氏子世帯限定の避難場所
- ・氏子自宅の水浸継続は2日を想定。3日以上避難の場合は豊田市指定避難場所へ移動する

ト イ レ	男性用	1基	小3
	多目的	0基	
	女性用	3基	



### ⑤安長寺（檀家世帯限定）

- ・本避難所では通路を取らずに駐車するため、避難解除まで車では退場できない
- ・評議員が避難名簿をまとめて、崇中の区長へ提出

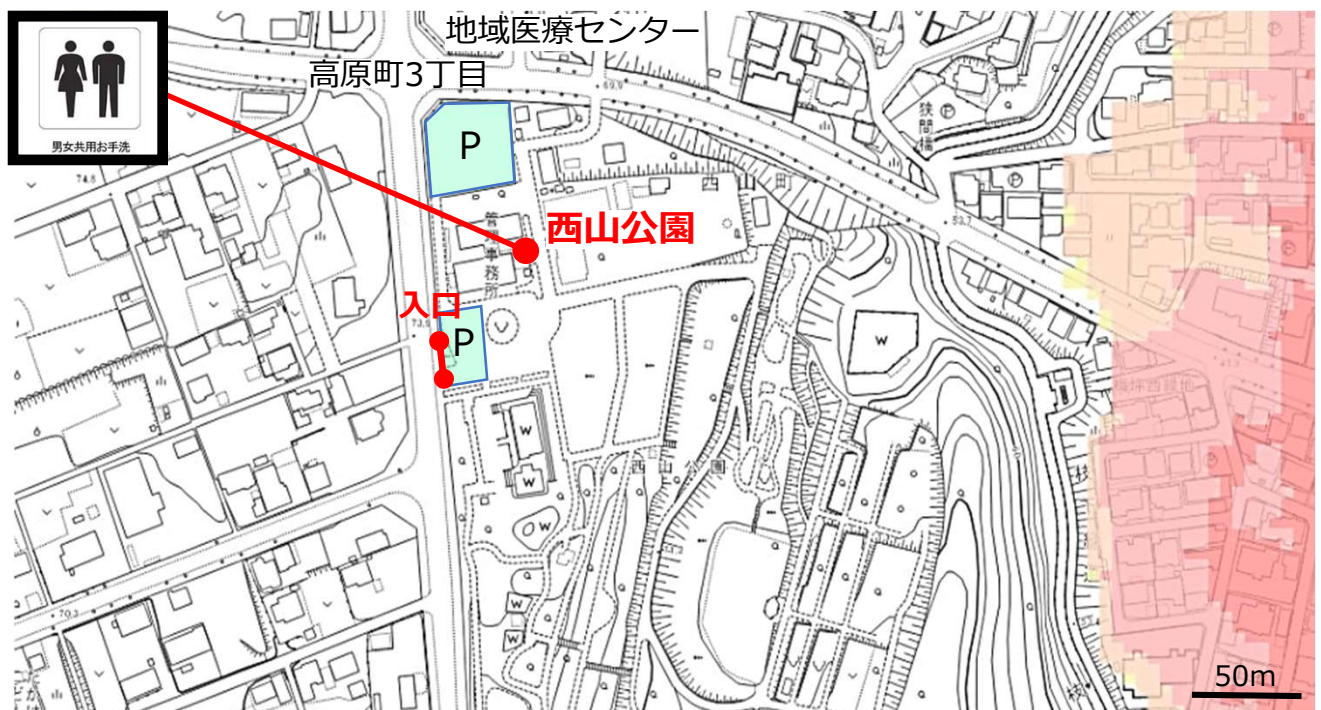
ト イ レ	男性用		小2
	多目的	1基	
	女性用	1基	



### ⑥西山公園：一時車両退避場所（先着順）

- ・本避難所では通路を取らずに駐車するため、避難解除まで車では退場できない
- ・市職員および評議員は不在

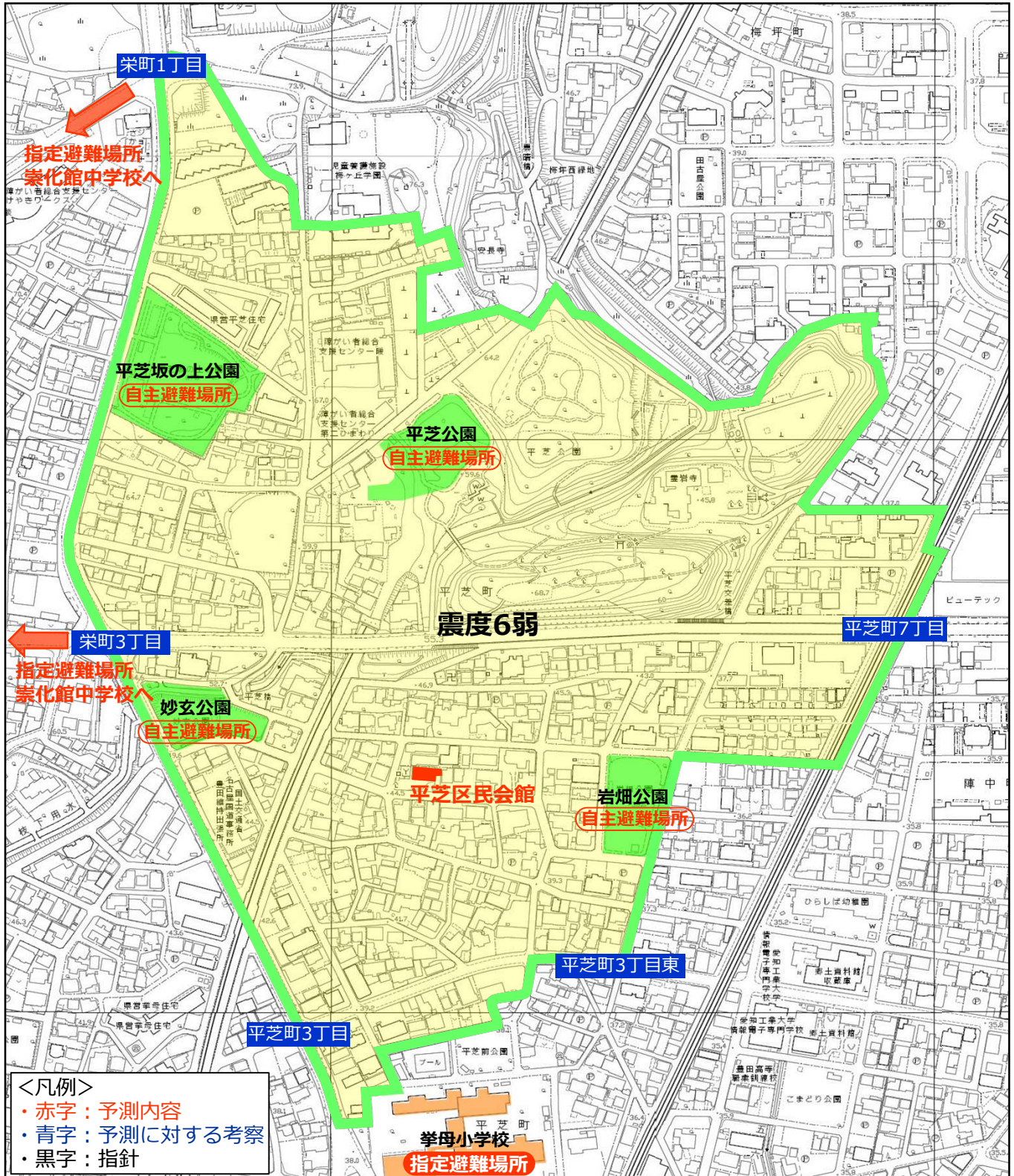
ト イ レ	男性用	2基	小4
	多目的	1基	
	女性用	4基	





## 6. 自治区内の被害予測<地震編>

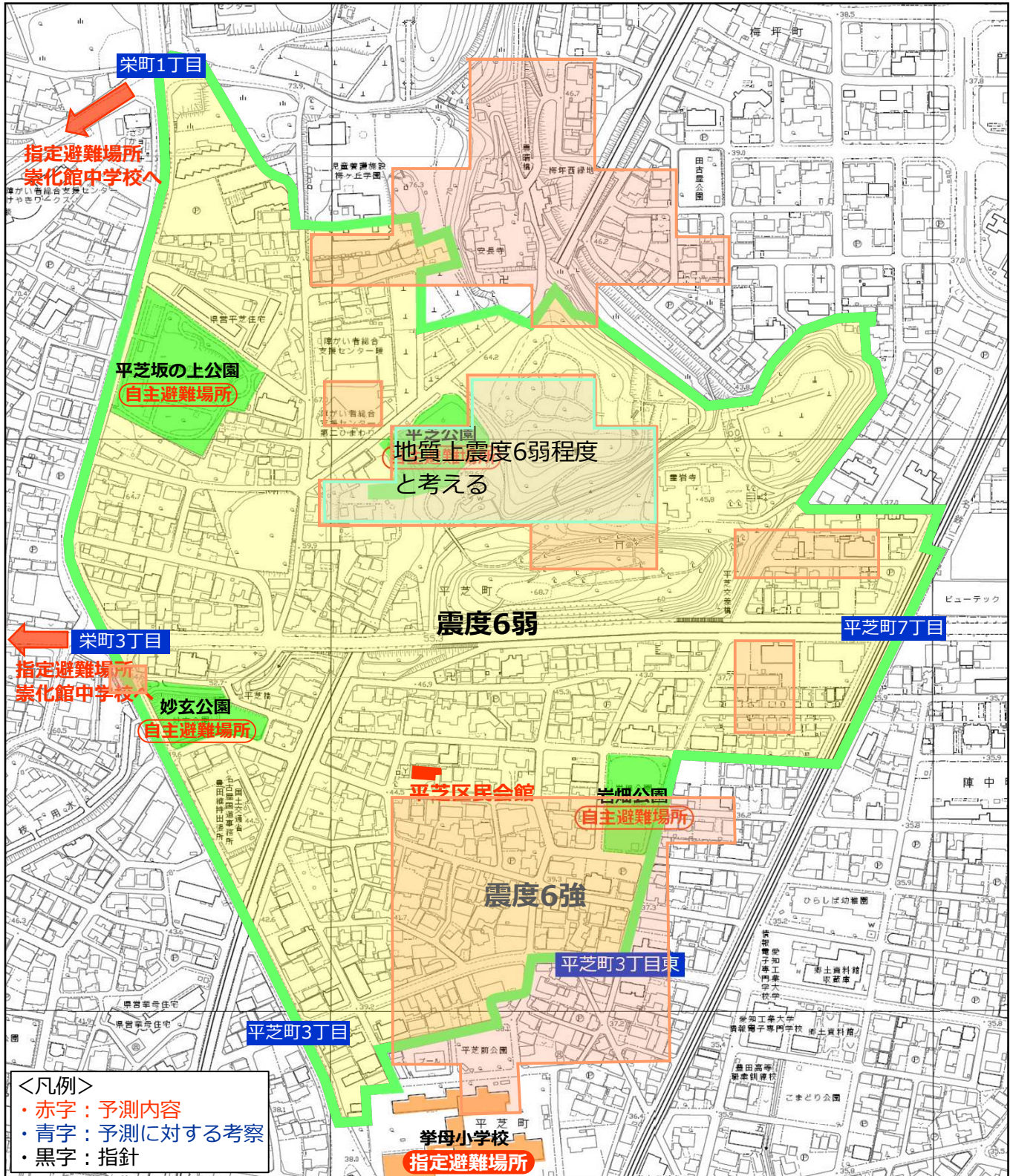
### 6-1 震度分布図（過去地震最大）



・自治区内は過去最大規模の地震で「震度6弱」

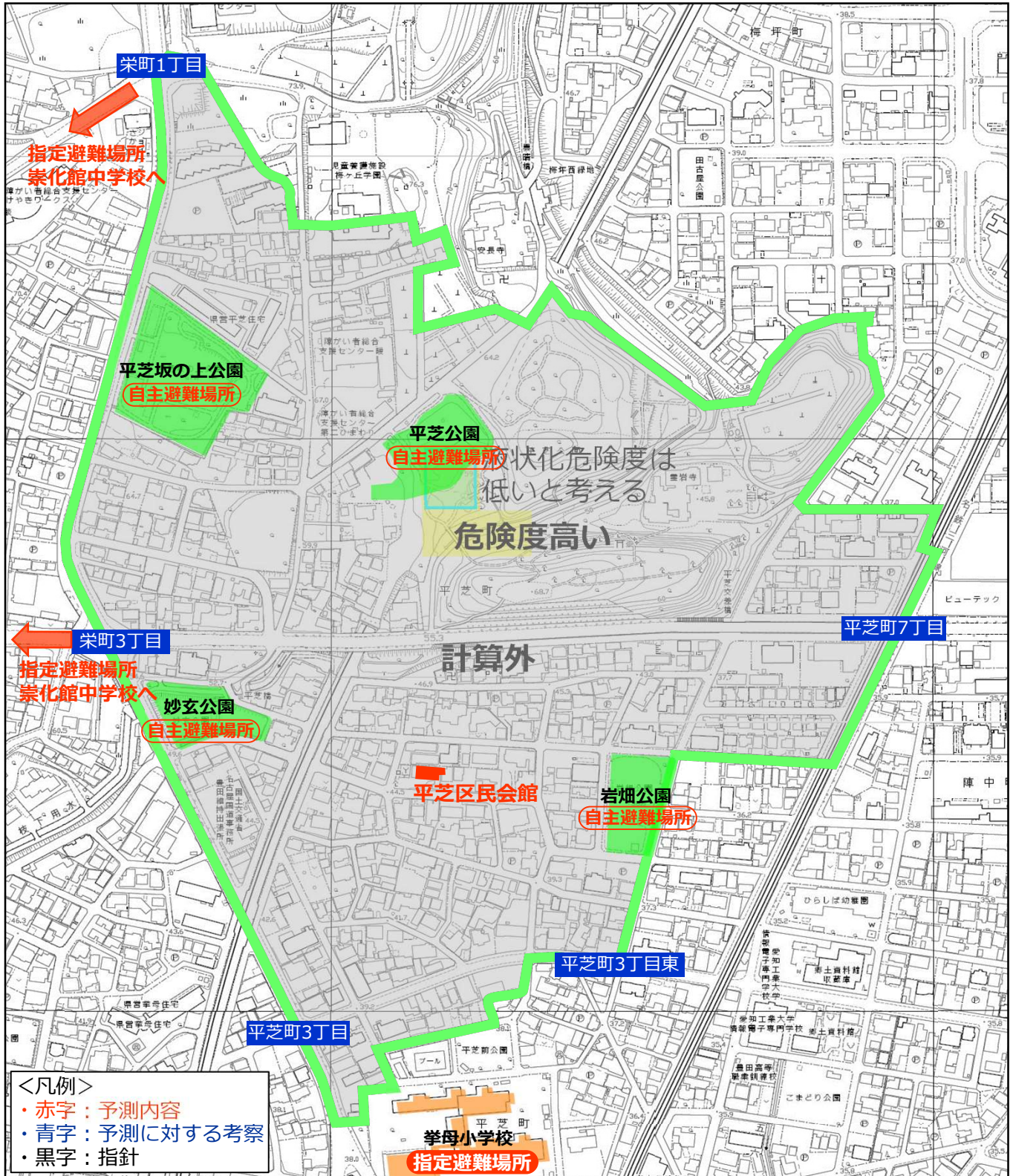
- ・旧耐震基準家屋は要注意（必ずしも倒壊するとは限らないが）
- ・新旧耐震基準にかかわらず、家具転倒防止、食器類散乱防止、出火防止のための感震ブレーカ設置、消火器の設置等事前対策をしっかりと行う

## 6-2 震度分布図（理論上最大）



- ・自治区全体としては過去地震最大と同じ「震度6弱」であるが、平芝公園全域、平芝町2～8丁目付近で「震度6強」が予想されている
- ・「震度6強」と表示された箇所内、平芝公園が含まれる箇所については、愛知環状鉄道トンネル調査時の報告書（「岡多線・瀬戸線工事誌」昭和63年3月 日本鉄道建設公団名古屋支社編）によれば、この区域では花崗岩が確認できるので、一部を除き「震度6弱」程度で済むと思われる
- ・3丁目の震度6強も、地盤が安定していることから6強まではいかないと思われる

# 6-3 液状化危険度分布

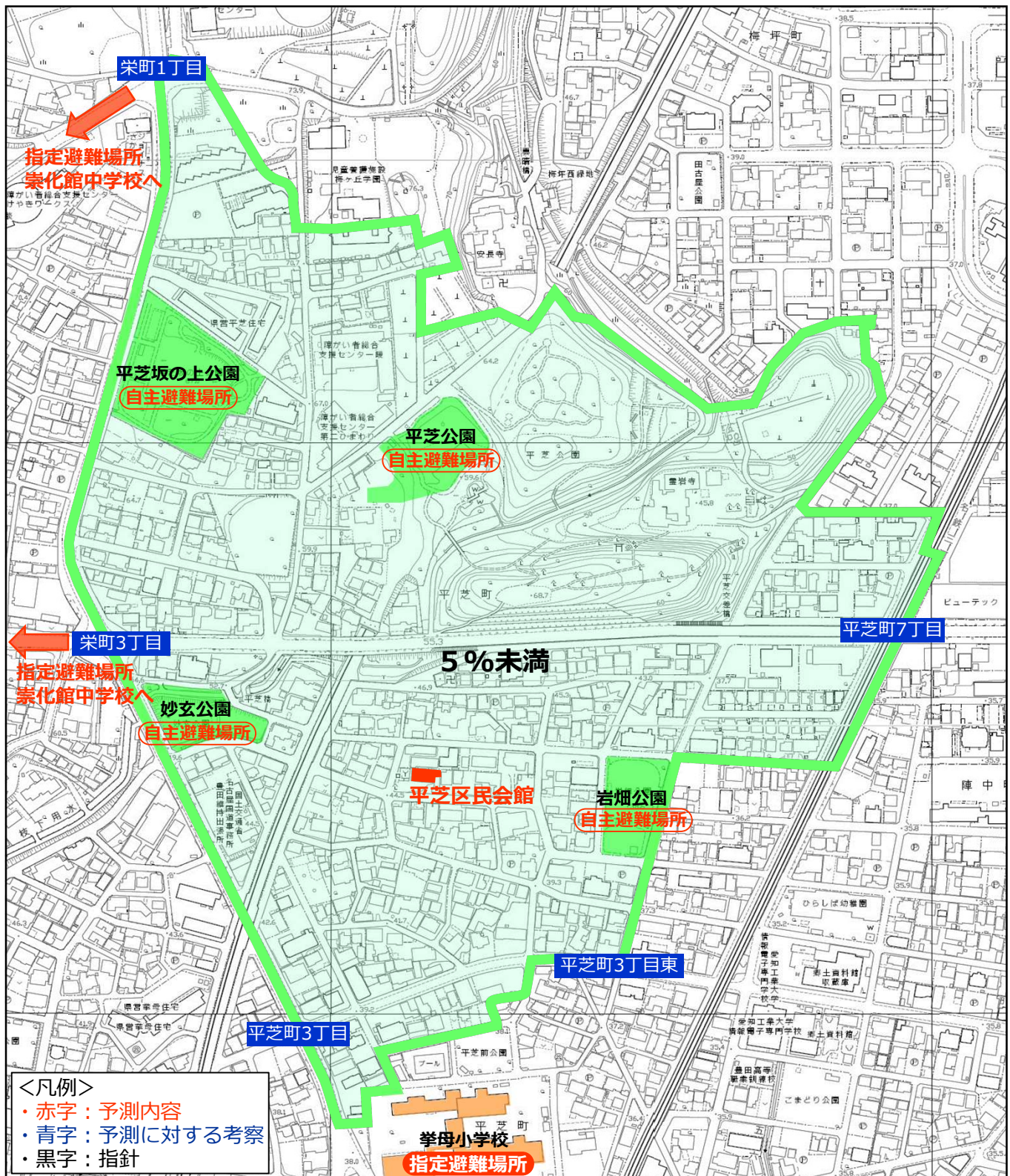


・自治区内全域で液状化は計算外。ただし平芝公園周辺は危険度が高い

・平芝公園の液状化危険度が高いのは過去に池があったからか

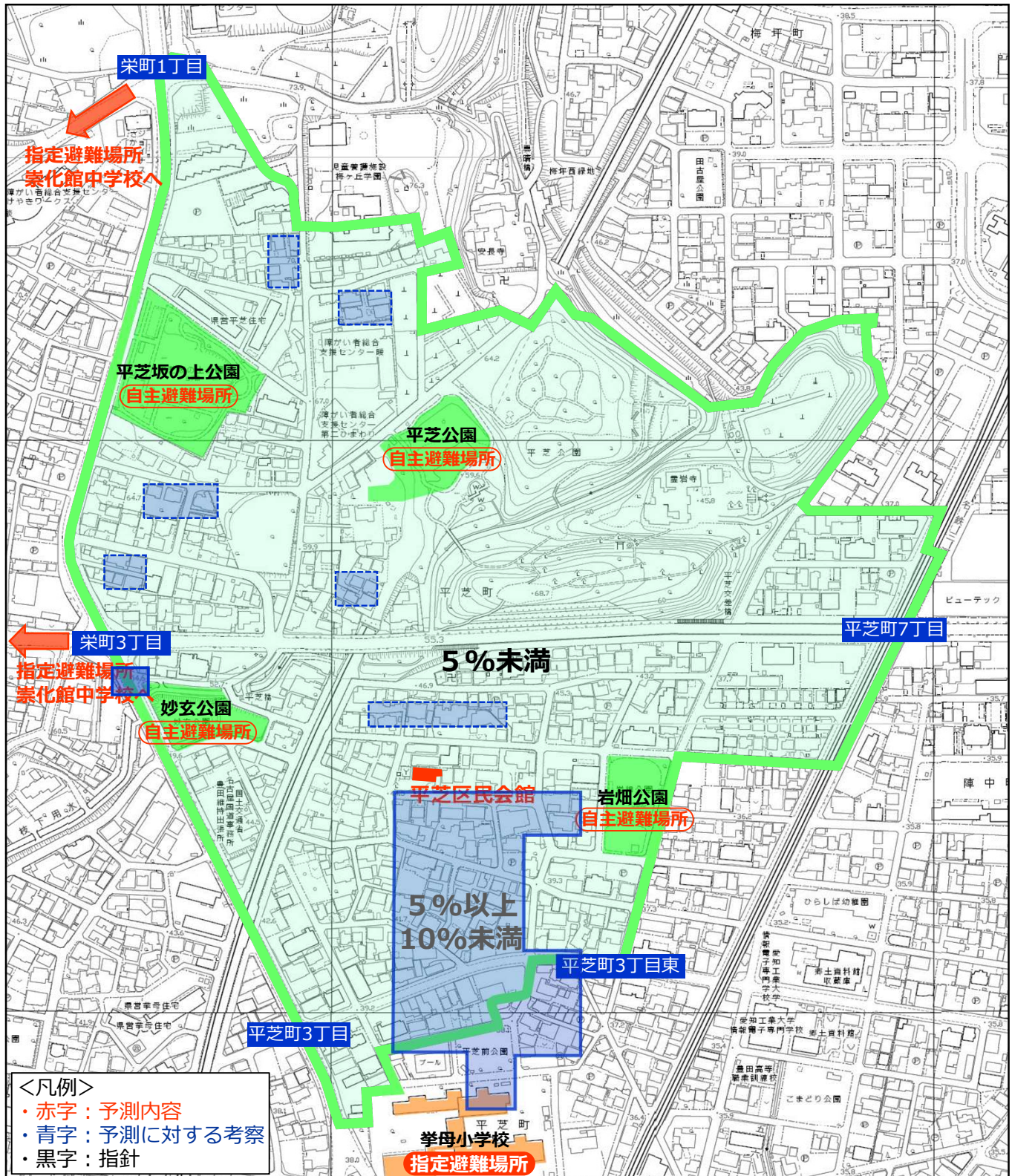
・地質調査結果より、平芝公園一帯の液状化危険度は低いと考える

## 6-4 建物損壊・消失率（過去地震最大）



・自治区全域で「5%未満」

## 6-5 建物損壊・消失率（理論上最大）



・自治区内ほぼ全域で「5%未満」であるが、平芝町2～3丁目付近および霊岩寺南側で「5%以上10%未満」が予測されている

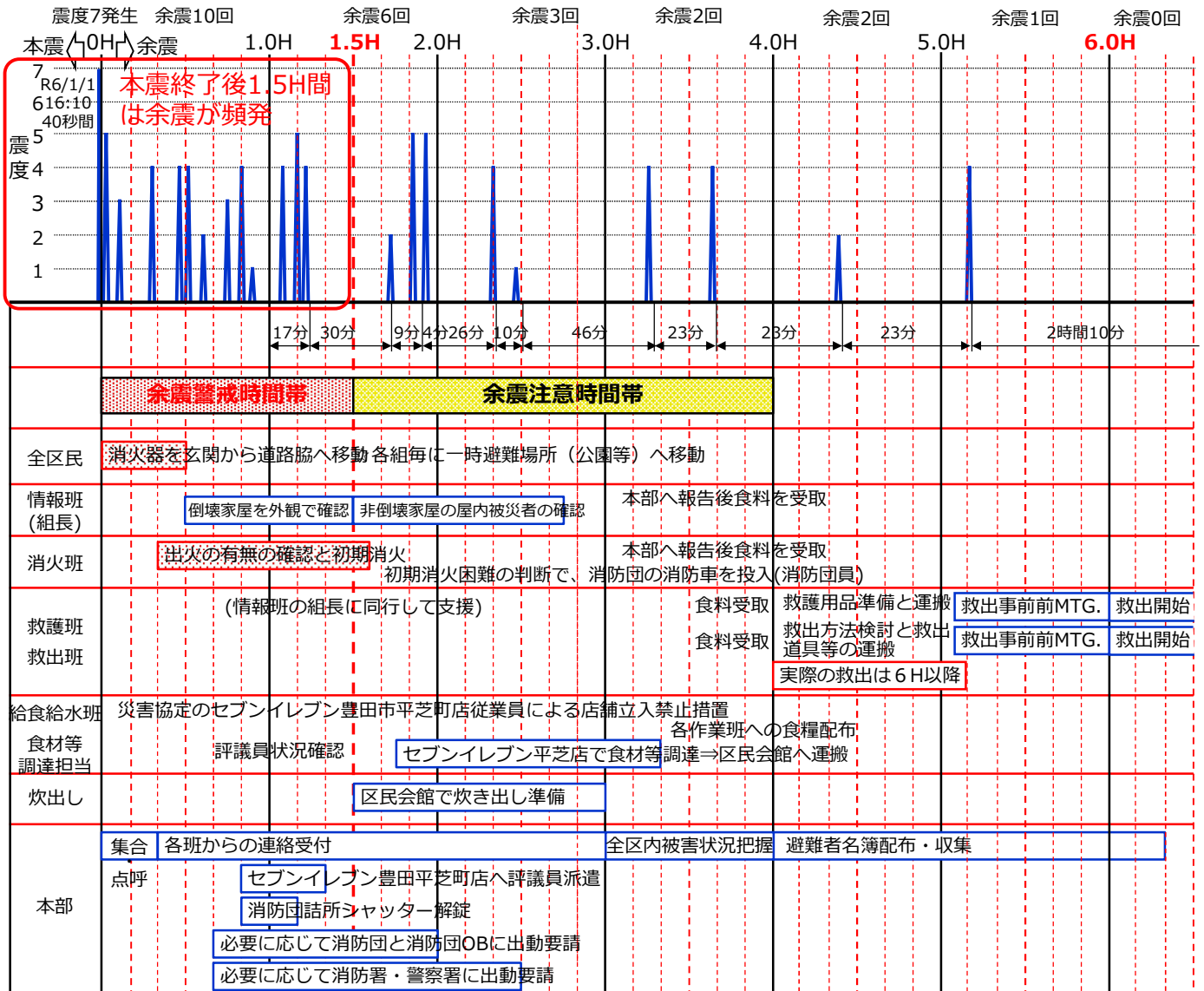
・地盤の違いで過去地震最大（P14 4-12）との違いを算定していると考えられるが、P16 6-2と同様の理由で、3丁目の範囲は間違いではないかと考えられる

# 7. 本震終了後の余震発生中の各班行動タイムライン



猿投・境川活断層が活動を起こした場合、能登半島地震における輪島市や羽咋郡志賀町と同様「震度7」の地震が予想される。以下のタイムラインは猿投・境川断層による地震を想定。

<本震終了後の余震の震度と頻度（能登半島地震の例）>



- ・本震終了後、全区民は各家庭の消火器を道路脇に出す
- ・本震終了後は余震が頻発するため、本震終了後から1時間半以内は活動を安否確認、情報収集、食料調達準備に留める
- ・但し、倒壊家屋の有無確認や火災発生の有無確認および初期消火は本震終了後迅速に行う
- ・救出作業は、余震がほぼ収まる本震終了後6時間程度から開始

## 8. 区民の皆さんへ

自治区としては、「**自分の身は自分で守る**」ことが原則であると考えます。  
その原則をもとにして、自治区としての考え方を以下に示します。

### <水害について>

水害に関しては、国交省・愛知県・豊田市より、従来の150年に一度とか、最近では1000年に一度という確率での洪水・浸水予想が発表されています。

では、水害が起こるのか、起こるとしたらいつなのかということですが、それらに対する明確な答えはありません。起きるのか起らないのか、もし起こるとしてもそれがすぐに起こるのか、それとも将来起こるのか、それは誰も予想することはできません。

ただ水害に関して一つ言えるのは、突然起こる地震とは異なり、その前兆に関する情報を時々刻々と得られることだと思います。例えば、

- ・ 台風や梅雨前線、線状降水帯の発生と発生場所
- ・ 台風や梅雨前線、線状降水帯における平均雨量と最大雨量および停滞時間
- ・ 矢作川の水量や矢作川ダムの放流予報

これらの情報を逐次収集することで、その後の被害範囲・規模および継続時間などを把握し、自らの避難行動をどうすべきか判断することができます。

そのためには関連情報の取得先を普段から把握しておき、災害の前兆が見られたら即座に情報収集を始め、それを継続して行うことが大事だと考えます。

その情報の中で自身や自宅に関係する情報を得たら、その情報が示す緊急性を自ら判断し、すばやく次の行動、例えばもう少し様子を見るとか、至急避難場所へ移動するといった行動を起こしてください。

一方、自治区としては、警戒レベル3の避難警報（高齢者避難）が発令された時点でそれぞれの主避難場所を開錠・開放し、あわせて緊急放送を行うことを考えています。

尚、今降っている雨が1000年に一度なのかどうかはその時点では分かりません。それよりも「線状降水帯」の発生が避難準備への鍵になると考えます。過去の例から見ても線状降水帯による被害が甚大なので、その発生場所・規模・滞留時間に十分注意を払って下さい。

### <地震について>

20年ほど前には「東海地震・東南海大地震」の発生が話題になっていました。

現在は「1000年に一度の南海トラフ最大級」として、平成25(2013)年に改めて予測が行なわれていますが、それに関しては今のところさして話題にも上っていません。しかし、国内の他の地域では大きな地震が頻発しているので、他人事ではありません。

ただこれについても水害と同様、起きるのか起らないのか、起きるにしても今日か明日か一月先か、それとも一年先かもっと先なのか、現時点では誰も予測はできません。さらに地震の場合、水害のようにあらかじめその前兆をつかむことはほぼ不可能です。

では、そういった予測不能な地震に対して、どのような予防を行えばいいのでしょうか。  
まずは、ご自宅の耐震状況がどのようなものを把握してください。

1981（昭和56）年6月1日から施行された耐震基準は「新耐震基準」と呼ばれ、2023年時点でも変わらず適用されています。新耐震基準では震度6強程度の揺れでも家屋が倒壊・崩壊しないことを基準としており、それまでよりも耐震性に関する規定は厳格化されています。従って1981年6月以降に設計が行われ、その後建てられた建物は、木造であれ鉄筋であれ耐震強度はまずは問題ないと考えられます。

それに対し1981年5月以前に建てられた建物（1981年6月以降に建てられた建物でも5月以前に設計されたものを含む）は、耐震強度が5強程度のため要注意です。ただ、該当する建物でも耐震診断を行い、診断に基づいて耐震補強を行った建物は特に問題ないと考えますが、そうでない建物は要注意です。是非ご自宅の耐震状況の再確認をお願いします。

次に大事なものは建物内の家具類の地震対策です。特に、造り付けでないタンスやロッカー、食器棚、冷蔵庫といった大物家具・家電は、しっかりと転倒防止を行ってください。

さらに食器棚については、扉への食器散乱防止対策を行なっていれば、より安全・安心です。

水害であれ地震であれ、万が一自宅を出て避難場所へ移動する際には、二次災害防止のために自宅ですべきことを確認し、確実にこなしてから自宅を離れるようにしましょう。

- ・ 空き巣や、火災の延焼を防ぐため家の戸締りを忘れない
- ・ ガス・水道の元栓を確実に閉める（レバーを下げて水を出すレバー式水栓は要注意）
- ・ 電気が復旧した時に、破損した家電製品に通電し火災が発生することを防ぐため、電気のブレーカーを確実に落とす（感震ブレーカーの設置も効果的）
- ・ 探しに来た人に無事を伝えるため、玄関に「全員無事です」「〇〇に避難しています」といった伝言を貼っておく

また、防災用備蓄品、非常持ち出し品等についてはいろいろな情報が開示されていますが、以下の愛知県HPの情報が参考になると思います。

- ・ 愛知県被災者支援情報ハンドブック 地震・災害に備えて  
[https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin\\_saigai/index.html](https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin_saigai/index.html)

→自分でできる防災対策

[https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin\\_saigai/jibun/answer/01.html](https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin_saigai/jibun/answer/01.html)

→地震の備えは大丈夫？家族みんなですぐチェックしよう！

[https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin\\_saigai/jibun/answer/01.html](https://www.pref.aichi.jp/bousai/zisin_saigai/jibun/answer/01.html)

→「防災・減災備L（そなえる）ガイド

<https://www.pref.aichi.jp/bousai/sonael/index.html>

●非常持ち出し品（例）

避難用具

- ヘルメット
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 乾電池（予備）

生活用品

- ティッシュペーパー
- タオル
- ビニール袋
- モバイルバッテリー
- ライター・マッチ
- 万能ナイフ
- 手袋（作業用）
- アルミブランケット
- 筆記用具
- 携帯トイレ
- 生理用品

衛生用具

- マスク
- アルコール消毒液
- ハンドソープ・石鹸
- 除菌シート
- 体温計

救急用品

- 救急セット
- 常備薬・持病薬

非常食品

- 飲料水
- 食料
- 携帯食

衣料品

- レインウエア
- 下着
- 靴下

貴重品

- 現金
- 印鑑
- 通帳、保険証、免許証とコピー

乳幼児がいる家庭

- 離乳食・粉ミルク・哺乳瓶
- 加熱調理器具
- 紙おむつ
- おしりふきシート

高齢者がいる家庭

- 入れ歯
- 介護食
- 大人用おむつ

ペットがいる家庭

- 動物病院連絡先
- リード
- ケージ
- ペット用食品
- 排泄用品

●備蓄品（例）

- 食料品
- 飲料水（一人1日3リットル）
- 生活用品（例：トイレットペーパー、ラップ、ガスコンロ、ポリタンク、スリッパ等）
- 携帯トイレ（1人1日5回分程度）

最後に、区民の皆さんへのお願いです。

繰り返しにはなりますが、とにかく「**自分の身は自分で守る**」ことを意識して実践していただくようお願いいたします。そうすることで、皆さんが安全・安心に日常生活を送るとともに、万が一災害が発生した場合でも災害を最小限に留めることができると思います。

そして区としては、皆さんが自身の身を守ることに對して、しっかりとサポートするとともに、必要なインフラの整備や情報提供を迅速かつ確実に行っていこうと考えています。

区民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



## 【参考】Ⅰ.用語説明

### <水害について>

<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031852/1027627.html>



#### 内水浸水（内水はん濫）と洪水（外水はん濫）

##### 内水浸水（内水はん濫）とは

雨水管の排水能力を超える雨が降った場合に、マスやマンホールから水があふれたり、雨水管に入りきれないで地上にたまったままになって起こる浸水や、大雨が降って川の水位が上がり、川に水が排水されにくくなって雨水管があふれたりして起こる浸水のことをいいます。



下水道の排水能力を超える雨が降った場合に、下水道から水があふれたり、下水道に入りきれないで地上に溜まったままになったりします。



街などに降った雨は、下水道などを通して川に排水されます。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。

#### 内水浸水想定区域図の基本事項

対象区域：

下水道計画区域（主に市街化区域、市街化想定区域） 5,162ヘクタール

境川・猿渡川流域水害対策計画区域 4,345ヘクタール

降雨条件：24時間総雨量836ミリメートル（1000年に1回程度降る雨）

備考：降雨条件は、「浸水想定（洪水、内水）の作成のための想定最大外力の設定手法」（平成27年7月 国土交通省）に基づいて設定しています。

一級河川、二級河川（安永川以外）の洪水（外水はん濫）は考慮していません。

想定される浸水が実際と異なる場合があります。

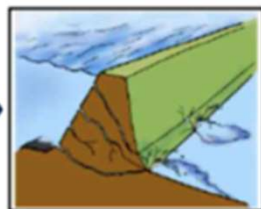
着色されていなくても浸水する可能性があります。

##### 洪水（外水はん濫）とは

大雨が降って川の水が増えて堤防から水がこぼれたり、水の力に耐えられなくなった堤防が崩れてしまうことによって発生する浸水のことをいいます。



大雨によって川の水が増え、水かさが増え始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかり始めます。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。



豊田市雨量情報システム



国土省川の防災情報

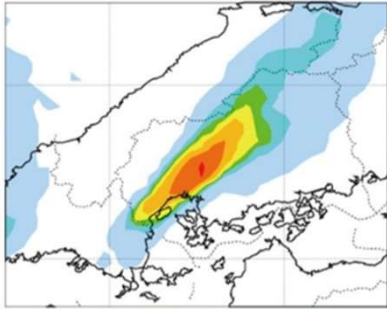
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho\\_senjokousuitai.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html)

**線状降水帯とは**（気象庁HPより）



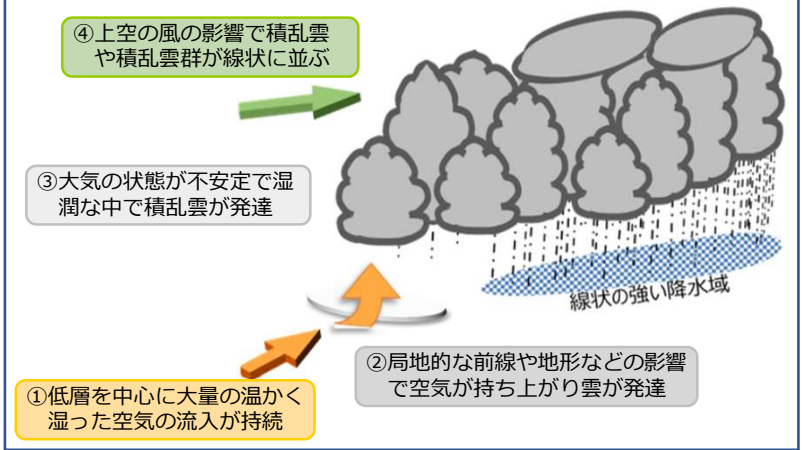
次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。

**線状降水帯の例（平成26年8月広島県）**



気象庁の解析雨量から作成した、平成26年8月26日4時の前3時間積算降水量の分布

**線状降水帯の代表的発生メカニズムの模式図**



※令和5年6月2～3日に全国的に発生した水害でも、特に線状降水帯が発生した地域の被害が大きかったようです。線状降水帯の発生には十分注意してください。

**<地震について>**

[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/010/573/gaiyo.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/573/gaiyo.pdf)



豊田市地震被害予測結果報告書[概要版]：過去地震最大モデルと理論上最大想定モデル被害予測結果  
地質想定モデル

従来の地震測定モデル		新たな地震想定モデル	
項目	東海・東南海地震 (平成14年度愛知県への予測)	過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル
地震規模	M8.27	現在内閣府で検討中	M9.0
周期	約100～150年の間隔	約100～150年の間隔 ※1	1000年に一度あるいはそれよりもっと発生頻度が低い
地震想定	東海地震・東南海地震の2つの地殻連動を想定したモデル	過去に南海トラフで繰り返し発生している地震のうち、発生したことが明らかで規模の大きい5つの地震を重ね合わせたモデル ※2	南海トラフで発生する恐れのある地震のうち、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震を想定したモデル
直接被害の予測数値 ※3		算出可能	算出可能
間接被害の予測数値 ※4		算出可能	算出不可 ※5

※1 南海トラフ地震の周期  
 ※2 1707年宝永地震 (M8.6)、1854年安政東海地震 (M8.4)、1854年安政南海地震 (M8.4)、1944年昭和東南海地震 (M7.9)、1946年昭和南海地震 (M8.0)  
 ※3 「人的被害」「建物被害」「火災被害」に関する予測数値  
 ※4 「ライフライン」「避難者」「物資不足」「住機能被害」等に関する予測数値  
 ※5 被害の評価手法は、実際に発生した地震の被害状況及び復旧状況のデータに基づいた設定されているため「理論上最大想定モデル」のライフライン被害等については、これまでの経験をはるかに超える巨大地震を同様の手法で定量的に想定する事には不確かさが伴う。このため、主として「命を守る」という観点から地震対策を検討するため、建物被害、人的被害については国及び愛知県の被害の評価手法に準じて想定したが、不確定要素を多く含むライフライン被害等については、想定の結果が誤った認識を与える恐れがあることから、愛知県の被害予想と同じように定量的な想定は行わないこととした



気象庁震度階級関連解説表

人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが目覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5強	大半の人が、物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が増える。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。補強されているブロック塀も破損するものがある。

## 木造建物（住宅）の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5弱	－	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5強	－	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注1) 木造建物（住宅）の耐震性により2つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

## 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5強	－	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6弱	壁、梁（はり）、柱などの部材にひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6強	壁、梁（はり）、柱などの部材にひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂がみられることがある。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁（はり）、柱などの部材にひび割れ・亀裂がさらに多くなる。1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めやX状のひび割れ・亀裂が多くなる。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注1) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和56年（1981年）以前は耐震性が低く、昭和57年（1982年）以降は耐震性が高い傾向がある。

しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

## 地盤・斜面等の状況

震度階級	地盤の状況	斜面等の状況
5弱	亀裂※ <sup>1</sup> や液状化※ <sup>2</sup> が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5強		
6弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※ <sup>3</sup> 。
7		

※<sup>1</sup> 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※<sup>2</sup> 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※<sup>3</sup> 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

## ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター（マイコンメーター）では震度5弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まる可能性がある※。
断水、停電の発生	震度5弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある※。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度4程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。（安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。）
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問合せが増加し、電話等がつながりにくい状況（ふくそう）が起こることがある。そのための対策として、震度6弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度5弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※震度6強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある

## 大規模構造物への影響

長周期地震動※による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いいため、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱いOA機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらなると、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング（タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象）が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなる可能性がある。

【参考】Ⅱ-1. マイタイムライン〈水 害〉

# マイ・タイムラインシート



マイ・タイムライン  
お家の防災行動計画

作成年月日	家		避難先①	避難先②
	月	日	避難先の種類 避難方法	避難先の種類 避難方法
			避難先の名称 所要時間 備考	避難先の名称 所要時間 備考

おおまかな時系列	行動のタイミング	取るべき行動
<p>日頃から備えておく</p> <p><b>前日までに</b>行っておくこと</p>	<p>雨風が強くなる前に行うべき事項をすませる時期</p>	
<p>当日の早い時間帯、余裕のあるうちに</p> <p><b>雨風が強くなる前に</b>行っておくこと</p>	<p>水位等の状況を把握しつつ避難行動を開始する時期</p>	
<p>避難するために準備しておくべきこと</p> <p><b>避難する前に</b>行うこと</p>	<p>身の安全を確保すべき時期</p>	
<p>避難時に</p> <p><b>行避難</b></p>		<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 <input checked="" type="checkbox"/> 家族全員
<p><b>命を守る行動</b></p>	<p>災害の発生</p>	

もし、マイ・タイムラインどおりに実行できなくても…

## 浸水・洪水から命を守る行動を!

- 2階まで浸水しそうな場合は **ためらわず 最寄りの高所へ避難**
- 外へ出る方が危険な場合は **在宅避難も有効**
- 1階が浸水しはじめたら **2階や屋上へ避難**



## 避難のタイミングの参考にしたい情報

「お気に入り登録」しておくとお便利です!

災害全般について  
気象庁  
ホームページ



今後の雨が気になるとき  
雨雲の動き  
高解像度降水ナウキャスト



土砂災害が気になるとき  
土砂災害  
危険度分布



川の水位が気になるとき  
川の防災情報



洪水が気になるとき  
洪水キキクル  
(危険度分布)



浸水害が気になるとき  
浸水キキクル  
(危険度分布)



<記入例>

# マイ・タイムラインシート



記入例

〇〇 家  
作成年月日 〇月 X日

避難先①	避難先の種類 緊急避難場所	避難先②	避難先の種類 在宅避難
	避難先① 〇〇小学校		避難先② 自宅の2階
	避難方法 徒歩		避難方法 徒歩
	所要時間 15分		所要時間 1分
	備考		備考

避難先①	避難先の種類 緊急避難場所	避難先②	避難先の種類 在宅避難
	避難先① 〇〇小学校		避難先② 自宅の2階
	避難方法 徒歩		避難方法 徒歩
	所要時間 15分		所要時間 1分
	備考		備考

おおまかな時系列	行動のタイミング	取るべき行動			
前日までに 日頃から備えておく → 雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期	前日までに → 雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期	<input type="checkbox"/> 避難先で必要になる物の選定 ● ママ ● 今月中	<input type="checkbox"/> 非常持出袋の準備 ● ハンパ ● 今月中	<input type="checkbox"/> 土のうの用意 ● ハンパ ● 前日	<input type="checkbox"/> 家族の予定の確認 ● ママ ● 前日
当日の早い時間帯、余裕のあるうちに → 水位等の状況を把握しつつ避難行動を開始する時期	大雨・洪水 注意報 → 水位等の状況を把握しつつ避難行動を開始する時期	<input type="checkbox"/> 食料品などの買い出し ● ママ ● 前日	<input type="checkbox"/> 家の周りにある風に飛ばされそうな物の片付け ● ハンパ ● 40分	<input type="checkbox"/> 家の周りの倒灌の掃除 ● ママ ● 40分	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 ● 全員 ● 随時
雨風が強くなる前に → 身の安全を確保すべき時期	大雨・洪水 警報 → 身の安全を確保すべき時期	<input type="checkbox"/> 携帯電話の充電 ● 太郎 ● 2時間	<input type="checkbox"/> マイ・タイムラインや避難経路の再確認 ● 全員 ● 15分	<input type="checkbox"/> テレビをつけて常に情報を得られるようにしておく ● 花子 ● ずっと	<input type="checkbox"/> 定期的に気象情報や推移の確認 ● 全員 ● ずっと
避難するために準備しておく → 身の安全を確保すべき時期	警戒レベル3 → 身の安全を確保すべき時期	<input type="checkbox"/> 土のうの設置 ● ハンパ ● 15分	<input type="checkbox"/> 非常持出袋の中身を確認 ● ママ ● 10分	<input type="checkbox"/> 身内や支援者に状況を知らせる ● ママ ● 15分	<input type="checkbox"/> 戸締り、雨戸を開める、ブレーカーを切る ● ハンパ ● 15分
避難行動を開始する → 身の安全を確保すべき時期	警戒レベル4 → 身の安全を確保すべき時期	<input type="checkbox"/> 大切なものを2階に上げる ● ハンパ ● 30分	<input type="checkbox"/> 断水に備えて浴槽に水を張る ● 太郎 ● 10分	<input type="checkbox"/> シャワーを浴びる ● 全員 ● 20分	<input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える ● 全員 ● 5分
避難行動を開始する	警戒レベル4	<input type="checkbox"/> 組内の人への声掛け ● ママ ● 15分	<input type="checkbox"/> 避難しやすいく避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難しやすいく服装に着替える ● 全員 ● 5分	<input type="checkbox"/> 区長さんに避難の連絡 ● 花子 ● 5分
命を守る行動	災害の発生	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員
命を守る行動	災害の発生	<input type="checkbox"/> 2階へ避難し、身の安全の確保 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 気象情報の確認 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 身内へ再度連絡 ● ママ ● 5分	<input type="checkbox"/> 出火やガス漏れ、地割れなど周囲に気をつける ● ママ ● 5分
命を守る行動	災害の発生	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員	<input type="checkbox"/> 避難行動を開始 ● 家族全員

渋滞や事故のリスクが増加することを理解し、余裕をもったタイミングを設定することが重要です。

避難の準備に何を行うか、どれくらいの時間がかかるのかは、世帯によって(場合によっては世帯員でも)違います。我が家の事情を踏まえて考えてみましょう。

# マイ・タイムラインシート ~地震編~

※地震は予測できない突発的な災害です。日ごろの備えが大切になります。

ハザードマップでチェック	避難行動のチェック		家庭の状況のチェック	
自宅で想定される震度は? [震度 ]	[震度 ] 以上のときや 地域内に被害があるとき	<b>避難場所の確認</b> 地域の ①集合場所に集まる (区民会館、ふれあい広場など) [ ] ②広域避難地 [ ]	指定避難所 [ ] に避難する (避難先 フローチャートを確認)	周りに支援が必要な人は?(高齢者、障がい者、妊婦、乳幼児など) <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない ペットは? <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <small>※ペットの安全を確保することも重要です。</small> 自動車は? <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない 生活空間の整理・家具の固定をしていますか? ⇒「家具固定チェックシート」を活用しよう!

経過時間	自分と家族の行動	家庭の状況のチェック
日ごろの備え	地震発生前にやっておくべきこと <input type="checkbox"/> 食料は最低3日分、できれば1週間分程度を備蓄 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品(備蓄品など)を準備(防災バッグに入れておく) <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ <input type="checkbox"/> 紙コップ、紙皿、割り箸など食器類 <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 充電器(乾電池式) <input type="checkbox"/> 衣類・軍手 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 救急セット(絆創膏、包帯、消毒液等) <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 自宅の耐震性を確認し、必要に応じて診断や改修を行う (昭和56年以前の建物の場合は市役所の建築相談課に相談) <input type="checkbox"/> 家具の転倒・落下物防止対策を行う、食器棚が開かないように固定 <input type="checkbox"/> 地震保険に加入する <input type="checkbox"/> 正しい車中泊の知識を身に付ける <input type="checkbox"/> テレビ・インターネット・防災ラジオ等から防災情報を入手 <input type="checkbox"/> 災害時の連絡方法・集合場所を家族で確認 <input type="checkbox"/> 地域の防災訓練に参加し、防災知識を身に付ける <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 近所の人と顔の見える関係を作っておく <input type="checkbox"/> 近所の人と協力体制を話し合っておく <input type="checkbox"/> 自治区や自主防災会が開催する行事に積極的に参加する <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
初動期 ~ 避難準備	地震発生 まずは自分の身を守る(災害発生時のシチュエーションによって異なる) <input type="checkbox"/> 姿勢を低く、頭を守り、動かない <input type="checkbox"/> 机の下などに避難 <input type="checkbox"/> 倒れそうな家具・落下物に注意 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	まずは自分の身を守る <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	~3分 <input type="checkbox"/> 落ち着いて状況把握 <input type="checkbox"/> 火の始末 <input type="checkbox"/> 家族・近所の安全確認 <input type="checkbox"/> ドアや窓を開けて逃げ道を確保 <input type="checkbox"/> 自宅が安全が確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	身の回りの安全が確保できたら <input type="checkbox"/> 近所の安否確認 <input type="checkbox"/> 近所の家が倒壊していないか確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
避難生活	~30分 <input type="checkbox"/> 余震に備える <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品(備蓄品など)の確認 <input type="checkbox"/> 家を出るときはブレーカーを切り、ガスの元栓を閉める <input type="checkbox"/> 地域の集合場所に集まる <input type="checkbox"/> ブロック塀や自販機などに近寄らない <input type="checkbox"/> 火災が発生しているかの確認 <input type="checkbox"/>	協力をして救出活動の準備 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	~3時間 <input type="checkbox"/> 地域で集まって避難所に避難する <input type="checkbox"/> 車の場合は渋滞を確認 <input type="checkbox"/> 自宅が安全であれば自宅に戻って在宅避難 <input type="checkbox"/> 道路・ルートを確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 避難所運営を手伝う <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
~3日間 <input type="checkbox"/> 災害用伝言ダイヤル(171)やSNSを活用して家族や知り合いに無事を知らせる <input type="checkbox"/> 避難者名簿を作成する <input type="checkbox"/> 集団生活のルールを守る <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

家具の固定、自宅の耐震化診断、地震保険に加入しよう!

消火できないような、大きな火災が発生したときはすぐに避難しよう!

※トイレ周りを清潔に保つなど、感染症対策が重要です!



## 【参考】Ⅲ. 参考資料

- ・とよたiマップー豊田市地図情報サービス  
①<https://www2.wagmap.jp/toyotacity/Portal>
- ・豊田市役所HP：豊田市基本図の提供（図番：240, 256）  
②<https://www.city.toyota.aichi.jp/jigyousha/toshikeikaku/1007588/index.html>
- ・豊田市役所HP：豊田市防災カルテ（基礎版）  
③<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031852/1020558.html>  
→崇化館中学校区（基礎版防災カルテ）  
④[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/020/558/01sokakan.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/020/558/01sokakan.pdf)
- ・豊田市役所HP：豊田市洪水ハザードマップ（01地図面 崇化館）  
⑤[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/044/006/03.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/044/006/03.pdf)
- ・豊田市役所HP：豊田市水害被害予測調査結果報告書  
⑥<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031855/1051965.html>  
→豊田市水害被害予測調査結果報告書（暫定版）  
⑦[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/051/965/01.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/051/965/01.pdf)  
→避難方針（案）1. 崇化館、朝日丘、梅坪台地区  
⑧[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/051/965/02.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/051/965/02.pdf)
- ・気象庁HP：線状降水帯に関する各種情報  
⑨[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho\\_senjokousuitai.html#b](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/kishojoho_senjokousuitai.html#b)
- ・国交省南海トラフ巨大地震対策  
⑩<https://www.ktr.mlit.go.jp/bousai/bousai00000135.html>  
→南海トラフ巨大地震対策について（最終報告）  
⑪[https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku\\_wg/pdf/20130528\\_houkoku\\_s1.pdf](https://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/taisaku_wg/pdf/20130528_houkoku_s1.pdf)
- ・豊田市役所HP：豊田市地震ハザードマップ  
⑫<https://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/bousaibouhan/1031852/1029984/1002340.html>  
→南海トラフ巨大地震に対する豊田市地震被害予測結果報告書  
⑬[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/010/573/hokokusho.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/573/hokokusho.pdf)
- ・豊田市役所HP：災害対策推進計画  
⑭[https://www.city.toyota.aichi.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/015/244/keikaku\\_new.pdf](https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/015/244/keikaku_new.pdf)
- ・産総研 豊田地域の地質  
⑮[https://www.gsj.jp/data/50KGM/PDF/GSJ\\_MAP\\_G050\\_11033\\_2021\\_D-L.pdf](https://www.gsj.jp/data/50KGM/PDF/GSJ_MAP_G050_11033_2021_D-L.pdf)
- ・国交省 土地分類基本調査説明書 豊田  
⑯[https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/land\\_history\\_2011/mapdata/523740/523740\\_REF.pdf](https://nlftp.mlit.go.jp/kokjo/inspect/landclassification/land/land_history_2011/mapdata/523740/523740_REF.pdf)
- ・日本鉄道建設公団名古屋支社 岡多線・瀬戸線工事誌（岡崎・高蔵寺間）昭和63年3月（一般非公開）

### <参考> ホームページQRコード

※各ホームページは予告なく変更・削除が行われるのでご注意ください。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

QRコード (続き)



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯

<メモ>

Handwriting practice area consisting of multiple horizontal dashed lines.

## ご自宅に当てはまる項目をチェックしましょう

1. 東海豪雨浸水箇所	自治区内なし		
2. 土砂災害情報	警戒区域		特別警戒区域
3. 浸水想定区域（1000年に一度）	0.5～3m	3m～5m	5m～10m
4. （参考）旧洪水ハザードマップ（150年に一度）	1～2m	2m～5m	5m以上
5. 浸水継続時間（1000年に一度）	～12時間	12～24時間	24～72時間
6. 内水浸水想定区域（L2：想定最大規模降雨）	自治区内なし		
7. 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）	5%		
8. 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸浸食）	自治区内なし		
9. 震度分布図（過去地震最大）	震度6弱		
10. 震度分布図（理論上最大）	震度6弱	震度6強	
11. 液状化危険度分布	計算外		
12. 建物損壊・消失率（過去地震最大）	5%未満		
13. 建物損壊・消失率（理論上最大）	5%未満	5%～10%	
・住居建築年	～S56（1982）年5月	S57（1982）年6月～	
・住居耐震基準	震度5強程度	震度6強以上	

## 家族の連絡先

氏名	生年月日	血液型	会社名・学校名	電話番号

## 我が家の避難場所・タイミング

・水害の場合
・地震の場合

## 家族の安否確認手段


## ■緊急連絡先

警察	消防・救急車	天気予報	時報	災害用 伝言ダイヤル	区民会館
110	119	177	117	171	0565-33-3475

豊田市崇化館地区平芝自治区防災カルテ

発行日：令和6(2024)年11月30日

初版第1刷発行

発行責任者：平芝自治区 区長 戸田 博基

編集・制作：防災防犯部

広報書記部

発行所：平芝自治区

〒471-0065

愛知県豊田市平芝町3-4-13

TEL/FAX：0565-33-3475

E-mail：hirashibaku@hm.aitia.ne.jp

HP：https://hirashiba.jp

印刷所：サナゲ印刷(株)